

桜樹会会報

● 第42号



● 平成20年6月

● 日本大学桜樹会

目 次

【口 絵】創部 50 周年記念式典・記念祝賀会

1~8

創部 50 周年の祝賀式典に想う	顧問	門脇春男	1
男子体操競技金メダルを時系列にみて	顧問	門脇春男	3
創部 50 周年記念式典・祝賀会について—お礼—	体操部部長	早田卓次	4
記念行事を終えて	桜樹会会長	菊地君男	5
記念品のはなし	桜樹会副会長	鶴見興人	6
中締め	桜樹会総務	遠藤幸一	7
創部 50 周年を迎えて	4 期	木村多喜	7
再会から想う	6 期	梅崎捷也	8
そしてゾロゾロ二次会へ	7 期	海谷美代子	9
50 年後の戦略を！	9 期	今村 悟	11
もう一つの祝賀会	11 期	原 弘吉	12
体操部創部 50 周年記念行事に参加して	29 期	水島宏一	14
50 周年記念式典・祝賀会に至るまで	44 期	佐藤佑介	15
創部 50 周年記念式典・祝賀会式次第			16
オリンピック・世界選手権・ユニバーシアード大会出場者			21
来賓出席者・会員出席者・寄付協力者一覧			22
遠藤幸雄先生退職慰労会報告			27
平成 19 年度競技会成績報告			29
平成 19 年度役員会報告			39
平成 19 年度総会報告			43
平成 19 年度会費納入状況報告			51
会費納入のお願いと住所シールの見方			54
平成 20 年度体操競技大会予定			55
平成 20 年度役員一覧			56
平成 20 年度体操部役員および部員			57
会報の原稿募集について			58

日本大学体操部 創部50周年記念式典・祝賀会

期日 平成20年 3月15日

場所 日本大学会館 2階大講堂



会場入口



受付風景



司会者 ▶
小栗郁郎
(5期)



平成14年に解体された「かまぼこ」型体育館に設置されていた創部以来の
つり輪



◀演技VTR



感謝状贈呈



鏡 開 き



記念品・楯



オリンピック・世界選手権・ユニバーシアード出場者

集合写真 1



集合写真 2



会場風景 1



会場風景 2



会場風景 3



会場風景 4



創部 50 周年の祝賀式典に想う

顧問 門脇春男

絆 (きずな：つながり) 日本大学に体操部が創設されてから 50 年の年月が経った。

その節目の式典が、平成 20 年 3 月 15 日(土)に日本大学会館大講堂で、第 11 代総長小嶋勝衛(こじま かつえ)兼理事長、田中校友会本部長、常務理事、文理学部長、同次長、本部学生部長、各運動部の部長・監督・コーチや関係職員約 40 名。そして全国各地から馳せ参じた 260 名余のOB・OG の先輩諸氏と約 50 名の男女部員の参加を得て、厳粛なうちにも和やかに行われた。誠に慶賀の極みでした。

私は、幸いにも体操部の誕生から今日までかかわって来られたことを心から感謝し有難く思っています。

春 桜の季節である。桜の花とともに迎えられ、そして桜の花とともに学び舎に別れを告げて星霜 50 年。このたびの記念式典の集い(つどい)は、布地に例えるならば経糸(たていと) (50 年の歴史)と緯糸(よこいと) (入学した年度別)とが交差し、完成された織物(おりもの)の布のように結ばれた日でもあった。

それぞれの年代ごとに紡(つむ)がれた色彩の濃い糸、淡い糸(あや)などが紋(おりもの)なす織物のごとき立派で意義のある会合でありました。

2 年余にわたり計画・準備・実行に携わった役員のみなさんに満腔の敬意を表します。

うれしかったむかし話三題

- (1) 昭和 31 年の終わる頃、当時の体育課長平野平三(ひらの へいぞう)教授(陸上競技部OB、日本陸連常務理事)が、大学公認の運動部でないと選手勧誘しづらいから大学本部に「公認願いの申請書を提出した方がいい、とその書類の下書き原稿をくださり、一切の手続きなど面倒をみていただきました。通常 2~3 年実績をみてから審議され許可されるべきものだが、お蔭様で翌年の 32 年 4 月から日本大学体育会公認の体操部となることができました。そして全日本学生体操連盟・関東学生連盟にも加盟することができました。平野先生(昭和 38~44 年まで第 2 代体操部長)が、親身になって体操部を誕生させてくださいました。本当に有難うございました。

- (2) 昭和 37 年の春頃だったか、当時文理学部長であり初代体操部長(昭和 32~37 年)であった秋葉安太郎(あきば やすたろう)先生が「体操専用の練習場を造るから、理想的な器具などの配置計画案を持ってくるように、そして日本を代表する選手を育ててください・・・」。昭和 39 年 6 月、待望の体操専用体育館が他大学に魁(さきがけ)て、3 階建ての総ガラス張りで、天井の高さ 5.5m、ゆか面積 800 m²で景観のいい体育館がみごと

完成したのである。そして、東京オリンピック大会の練習場としても利用され、各国選手からも「ニチダイの体育館」は、とても環境がよく練習しやすいと絶賛された。秋葉先生の先見性や洞察力と決断性の偉大さを学びました。

- (3) 昭和 39 年 10 月 10 日 (土) から始まった東京オリンピック大会の体操競技は、競技全体後半の 10 月 18 日 (日) から千駄ヶ谷駅前にある東京都体育館で行われたが、日本の男子は前回のローマ大会に引き続き団体優勝ができました。わが遠藤幸雄選手は、個人総合では初めての優勝、さらにゆか運動で 2 位、平行棒で優勝。また、オリンピック初参加、弱冠 24 歳 8 日目 (誕生日が 10 月 10 日) の早田卓次選手は、団体とつり輪とで 2 個の金メダルを獲得。個人選手権では堂々の 8 位と大健闘でした。

オリンピック大会が終わり、10 月 26 日に大学本部に遠藤・早田・渋谷 (現木村) 選手と挨拶に伺ったところ、総長室で第 6 代総長永田菊四郎 (ながた きくしろう) 先生が歩み寄り「ごくろうさん、ごくろうさん、よかったね!」と一人ひとりと抱擁してその労をねぎらってくださいました。まさに感動的な出会いでした。

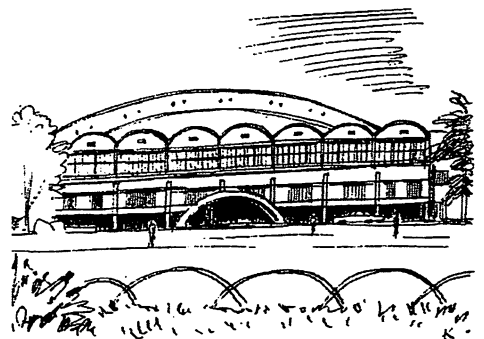
因みに、永田先生は総長に就任されたときに「・・・われ学生とともにあり・・・」と挨拶されて、当時の教職員、学生をびっくりさせた、人情味のある先生でした。爾来、人間と人間との出会い、巡り合いについて私は深く考えさせられました。

節目 日本大学は創立 120 年を来年迎え、100 万人の校友と 7 万人の在学生の更なる発展を学生とともに学術・研究・教育の成果を挙げるように、環境の整備・充実を図り、伝統の上に建った新しい日本大学をつくる努力をしています。

私たち体操部に関係する 1000 余名すべてが、この節目 (創立 120 年、創部 50 年) に当たって一致協力して新しい時代に向かって、菊地君男桜樹会新会長、早田卓次体操部長、梶山廣司監督、西川大輔・長澤郁子コーチ等を中心に新しい目標を立てて、新しい歴史をつくろうではありませんか。

目標を立てれば、工夫や努力が当然必要となります。

(2008. 4. 12. 記)



東京体育館

《 男子体操競技の金メダルを時系列にみて 》

顧問 門脇春男

第18回オリンピック東京大会では、JOCの選手団は16個の金メダルをとったが、体操競技では男子が5個獲得した。
その内訳は、

大会 12 日目	10月20日(火) 自由演技時間 20:00~21:30 男子団体 ⑪ (21:32) 個人総合 遠藤幸雄 ⑫
大会 13 日目	10月21日(水) 種目別つり輪演技時間 19:30~20:00 早田卓次 ⑬ 早田選手の試技順は6番目 19:56頃演技開始 * 天皇陛下、皇后陛下ご臨席賜る。(当時の昭和天皇)
大会 14 日目	10月22日(木) 種目別跳馬演技時間 20:00~20:30 山下治広 ⑭ 種目別平行棒演技時間 20:30~21:00 遠藤幸雄 ⑮ * 皇太子殿下、同妃殿下ご臨席賜る。(現在の平成天皇)

金メダルの第1号は、大会2日目の10月11日(日)渋谷公会堂で開催された重量挙げ・フェザー級の三宅義信である。

体操競技での11~15個の金メダルの前後は、柔道・重量級 猪熊 功が⑨、ボクシング・バンタム級 櫻井孝雄⑩、そして大会15日目の10月23日(金)19:30開始の女子バレーボール競技は、駒沢公園の体育館で東洋の魔女といわれた日本対ソビエトで、大接戦ながら3対0で日本の勝利となり16個目の金メダルとなった。

なお、この試合は皇太子、同妃殿下が観戦され大変お喜びになりました。

創部50周年記念式典・祝賀会について —お礼—

日本大学体操部部長 早田卓次

日本大学体操部創部50周年の記念式典・祝賀会を、平成20年3月15日(土)日本大学会館大講堂で盛大に開催することができました。大学本部からは小嶋勝衛総長・理事長はじめ執行部の皆様方ならびに保体審の各部監督の方々、文理学部からは島方洸一学部長ほか事務局及び体育学科の先生方にご出席いただきました。そして何よりも、今回の記念行事を盛り上げていただいたのは体操部の先輩方でした。会場に入りきれないほどの盛況ぶりに、来賓の方々からは驚きとともにお褒めの言葉をいただきました。

改めて桜樹会会員の皆様方に厚く感謝申し上げます。

また、当日参加できなかったにもかかわらずご寄付にご協力くださった多数の方々にも、重ねてお礼を申し上げます。

記念式典では、部の創設期から現在まで部の発展に多大な貢献をされた濱田靖一先生、門脇春男先生(遠藤幸雄先生、門脇和子先生は欠席)及びオリンピック、世界選手権、ユニバーシアードに出場したOB・OGの方々に対して記念品を添えて感謝状をお贈りいたしました。

会は第5期の小栗郁郎君の軽妙な司会で式典から祝賀会へスムーズに進行しました。祝賀会では、卒業以来の再会で双方が思い出すのに時間を要する場面もありましたが、同じ釜の飯を食った仲間同士の会話はとめ

どなく続きました。

創部2年目の赤堤の合宿所、翌年の浜田山合宿所、かまぼこ型体育館の器具出し、創部8年目(1964)に新装専用体操場の落成、八幡山寮水害事件、春合宿の前橋、銚子、三島、土浦のはなし、紛争時の日大鶴ヶ丘高、日大豊山高、秋田での疎開練習のはなし、インカレ初優勝、インカレ3連勝、全日本初優勝等々限りなく話題が続き、予定の2時間はあっという間に過ぎてしまいました。

50年という長い年月が経過しても、日本大学体操部の仲間の心は一つであることが今回の50周年の集まりで証明されました。

体操部現役の諸君にも、この強い絆を絶やすことなく受け継いでいって欲しいと切望しています。

日本大学桜樹会、日本大学体操部の一層の^{いばさか}弥栄を祈念するとともに、この度の記念行事を開催するにあたりお世話になった記念行事実行委員の皆様方はじめ、各卒業期のリーダーの方々に体操部を代表して心よりお礼申し上げます。また、名誉会長の石井征也氏、会長の菊地君男氏には特段のご配慮をいただき感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

今後とも日本大学体操部に対しまして一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記念行事を終えて

桜樹会会長 菊地君男

体操部創部 50 周年記念行事開催の発端は、平成 18 年 6 月 24 日に行われた会員総会でした。様々な議論を経て、記念行事の開催に向けスタートを切ったのです。

その総会では、もう一つ重要な案件がありました。石井会長（当時）から会長を辞退したいという申し出があったのです。その後の経緯については会報 40 号掲載の議事録に明らかなように、その場では結論が出ず議長預かりとなり、結局、11 月の役員会で私は会長に推挙され（正式には翌年 3 月の総会で決定）、記念行事実行委員長に指名されたのです。私はそのとき以来、会長というプレッシャーのうえに 50 周年記念行事開催という更なる重圧を受けつつ日々を送ることになったのです。

平成 19 年 1 月 20 日に恒例の桜樹会有志による新年会が、新宿の「栄寿司」で開催されました。私はその席で、記念行事実行委員長という立場から、「体操部創部 50 周年記念行事」の開催計画を初めて公にしました。記念行事に向けて具体的に動き出したのです。以来、主催側である早田部長、梶山監督と話し合いを持ちつつ、実行委員会を開催し準備を進めました。

記念行事開催に当たって危惧されたことは、50 年という歳月に対する感じ方が、卒業期によって違うのではないかということでした。卒業して間もない会員と数十年を経た会員では、記念行事に対する思い入れが違って当然です。若い会員にどのように

アピールするかが課題でした。

今年 1 月、開催通知を発送しました。当初は反応も鈍く不安な日々でした。しかし、幹事、ブロック幹事、そして卒業期の代表者の方々の努力によって、出席者は卒業期をほぼ網羅し 266 名に達したのです。

厳粛な式典、和やかな祝賀会は 50 周年のイベントに相応しい雰囲気でした。会場では、それぞれが一瞬のうちに学生時代に立ち返り、再会を喜び合うシーンは感動的でもありました。

ところで、記念行事を成功裏に終えることができた大きな要因として、体操部員の諸君が案内、受付、クロークなど裏方の仕事を誠実に務めてくれたことが挙げられます。体操部と桜樹会が一体となってこの慶事を成功に導いたのです。部員諸君が今回の行事を通して先輩たちと感動を共有できたならば、伝統は間違いなく受け継がれていくものと思います。

記念行事終了後、新宿「栄寿司」に一期から十数期までの 65 名の人たちが集まっていました。日大会館の感動をそのまま持ち込んだような二次会でした。聞けば、当夜はあちこちで同様の二次会（同期会）が行われたようです。このことは記念行事の成功を端的に物語っているように私には思えるのです。参加した人たちの胸に、何か温かいものが残った、そんな一日であったと私は信じています。

皆様のご協力を心から感謝いたします。

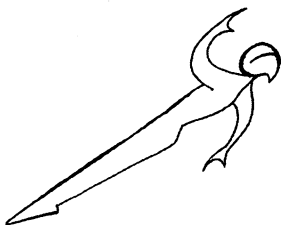
記念品のはなし

桜樹会副会長（6期） 鶴見 興人
記念行事に出席した方々に配付する記念品をどんなものにしようかということが、実行委員会の度に議論されました。結局、体操部のシンボルマーク（部章）をデザインしたタイピンとスカーフピンに決まりました。

桜樹会会員の方には、会報の表紙で馴染みのあるフルターンのデザインですが、その誕生にまつわるエピソードを知る人は少ないと思います。

昭和 52 年 1 月、日大体操部の現役部員とOBによってアメリカへ遠征することになり、早田先生から、遠征先で配るロゴの入ったバッジのようなものがないだろうかという相談がありました。当時、主だった運動部には部章がありましたが体操部にはありませんでした。

濱田先生にデザインの作成をお願いしたところ、その場で使いかけの画用紙の裏にフルターンの画を描いてくれました。それがこの画です。私の手元には当時の原画がそのまま残っています。



この画をもとにして、当時はパソコンもなかったので NIHON と Gymnastics を

手書きで仕上げました。

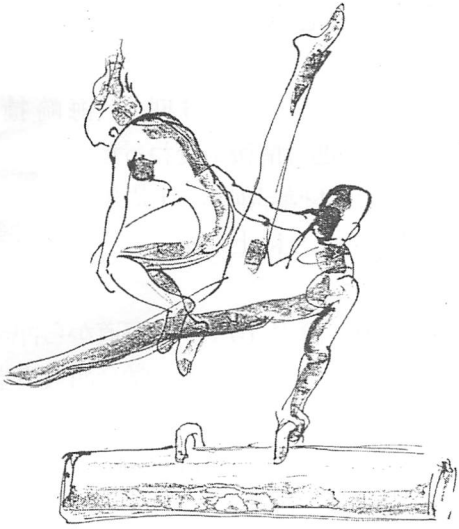
こうして生まれたのが、部のシンボルマークとなり、今回の記念品のデザインとなったのです。ぜひ日本大学体操部への帰属意識の象徴として認識していただきたいと思っています。



ちなみに、シンボルマーク誕生のきっかけとなったアメリカ遠征のメンバーは次のとおりです。

団長	濱田靖一
監督	遠藤幸雄
コーチ	早田卓次
選手	五十嵐久人（昭和 48 年卒）
	梶山廣司（昭和 51 年卒）
	松本俊一（3 年生）
	金居俊郎（3 年生）
	藪野睦明（3 年生）
	境 保則（3 年生）
	慶田盛定（2 年生）
	瀬戸伸一（2 年生）

実にそうそうたるメンバーであったことがわかります。今では、過去に日大体操部単独によるアメリカ遠征が行われたことを記憶している人も少ないのではないのでしょうか。



記念式典では、体操部の充実、発展に寄与された方々に対して記念品を添えて感謝状が贈呈されました。その記念品にも躍動的な濱田先生の画が刻されています。

93歳になられた濱田先生のお元気な姿は会場の感動を呼びました。

中締め

桜樹会総務 (25期) 遠藤幸一
記念式典を振り返り、やはりその思いは多くの方々への感謝しかないことをつくづく感じます。その気持ちは「実行委員会代表」として高いところから失礼してお伝えさせていただいた中締めの言葉につきますので、改めてここに記したいと思います。

本日は、ご多忙の中、日本大学体操部50周年の節目のお祝いに、日本大学小嶋総長をはじめ、多くの皆様方のご参加、誠にありがとうございました。

正直に申し上げまして、企画段階においてこれだけの人を集められるのか不安に感じることもありました。しかし、創部以来かかわってこられた実行委員長である菊地会長の思いと、何よりも日本大学体操部であることを誇りに思い、愛してくれている方々が、実行委員の想像をはるかに超えてこのように集まってくれたことで、改めて日本大学体操部の強い「きずな」を感じました。本当にありがとうございました。

部員個々には、日本大学の学生として、また体操部員として、よき仲間とともに苦楽を過ごしたのは4年という月日になります。しかし、今年、先輩方が礎を作り、後輩たちがそれを引き継ぎ、その積み重ねにより50年という時を刻みました。そしてこのようにこれだけ多くの方々祝っていただけたことで、日本大学体操部の歩みは間違っていないことを確信いたしました。

今後とも、日本大学体操部の発展のため、OBOGとして支え、またお集まりの諸先生方には変わらないご指導ご鞭撻をいただきませうお願いをして、本日の祝賀会中締めのことばと致します。本日は誠にありがとうございました。

創部50周年を迎えて

4期 木村多喜
創部50周年おめでとうございます。

式典には、日本大学総長はじめ保健体育審議会事務局長、文理学部長、教職員、各運動部監督・コーチのご臨席をいただき、そして大勢の桜樹会会員の皆様が出席されて盛大に催されました。改めて50周年の

歴史とその意義の深さを認識いたしました。

私は体育学科の二期生として、昨年は体育学科創設 50 周年、そして今年は体操部 50 周年を迎えることができ、二重の喜びを味わうことができました。

記念式典では、オリンピック大会、世界選手権大会、ユニバーシアード大会に出場したOB、OG、現役部員とともに表彰を受け大変光栄に感じています。この栄誉は、ご指導いただきました諸先生はじめ、お互いに切磋琢磨して練習に励んだ先輩、同期の仲間、後輩、そして家族の応援の賜と深く感謝いたしております。また、遠路はるばるご出席いただいた桜樹会会員の方々とお会いして、改めてその絆の強さを感じ、感激と感謝の気持ちで一杯になりました。

出席された方の中には何十年ぶりかでお会いした方もいらっしゃいましたが、簡単な挨拶だけでゆっくりお話もできず残念な思いが残りました。しかし、皆様の元気な姿、変わらぬ若々しさに驚き、しばし昔に戻ったような錯覚さえ覚えました。いつでもお会いできそうで出来なかったこの年月ですが、今回それが実現できて私にとって忘れられない一日となりました。

こんな素晴らしい記念行事を計画し成功に導いていただいた実行委員の皆様に厚くお礼申し上げたいと存じます。

最後になりましたが、今回の 50 周年を機に 60 年、70 年と歴史を刻み、桜樹会と体操部がますます発展されますよう、併せて会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

また次回、元気に再会できることを楽しみにしております。

再会から想う

6期 梅崎捷也

桜前線の進行情報が変わった。

今年は、体操部創部 50 周年の祝いを知らせるかのようには上方から九州に向かって下って来た。

平成 20 年 3 月 15 日、北海道から沖縄県のOB、OG、市ヶ谷日本大学会館大講堂、午後 5 時集合という桜樹会の呼びかけに、半世紀のときを確かめるために大勢の老若男女が駆けつけた。

会場の内外を問わず、祝いの言葉と笑いと歓声が交錯し盛会だった。この会の開催を企画し再会の場を提供してくれた菊地会長をはじめ桜樹会幹事諸氏に感謝し、心からお礼を申し上げます。

創部して 50 年、私が関わったのは 4 年間だが、お互い助け合い部を作り上げた仲間は 7 歳の年の差がある。40 年を経て再会したにもかかわらず不思議に名前と顔が一致した。学生時代以来久しぶりに握手した手は柔らかかった。

私の部員生活は昭和 36～40 年。39 年の東京オリンピックでは係員として手伝い、体育会系の競技者にとって最高の舞台を肌で感じる体験をし、競技生活にピリオドを打つことができた。

東京オリンピックは、早田、渋谷両先輩と遠藤先生を送り出した日大体操部でした。

今回の記念祝賀会がオリンピックの年に行われたということは、われわれ世代にとって、オリンピックの年に良い思い出の巡り合わせが多いということもあり楽しみに待っていました。

体操部の記念祝賀会を終えて、次の桜樹会50周年を思うと楽しみになってきます。今度は誰が出て来るのだろう、みんな元気になっているだろうか・・・。

ところで私は、部員は競技者として技術を身につけ、その技術を後輩に伝え指導することを喜びとする人と、部の生活を通して人としての生き方や考え方、人間関係を教育として受け入れ体操とは無縁の経済社会に出て行く人とに分けられると思います。

私は後者であると思っています。その目から見て、会報と桜樹会に提案します。

現在の会報は、競技会報告をはじめ競技者向け、指導者向けの編集が主となっているように感じます。編集に携わっている方々のご苦勞も察せられますが、もう一工夫していただいて、後者向けの内容も取り入れていただければと思います。

例えば、ブロック幹事の行事報告とか、地方転勤したときの地区組織の対応、地区の親睦会の奨励などを積極的に取り上げてください。また、年に一度ぐらいは役員と地方会員の懇談会を開いてはどうでしょう。

地方の時代といわれる昨今、単なる親睦会ではなく、社会の荒波の中で生きている会員が、学生時代の心意気をいつまでも失わず輝いていけるような会としたいものです。またそれを支援する組織を育てていきましょう。

試合会場で、「コンチワ」と声を掛け合えるように「桜樹会バッジ」でも作ってください。競技を楽しむよりも懐かしむ歳になりました。体操部のますますの活躍を祈り、桜樹会50周年に参加することを目標にがんばります。九州博多より

そしてゾロゾロ二次会へ

7期 海谷 美代子

創部50周年記念式典に参列して、来賓の挨拶を聞いているとき、ふと、日大体操部が同好会として誕生した頃、私も中学1年生で体操部に入部し、それまではお転婆娘で跳んだり跳ねたりばかりして親に叱られていたのが、公然とそれを練習して良いことになり、まさに水を得た魚のごとく嵌^{はま}ってしまい、高校・大学と体操を続け、今日の50周年の記念の1ページに存在していたと思うと込み上げてくるものがありました。

私たち7期は、5年前に還暦祝いで1度集まっていたので、再会を楽しみに出席しました。岩澤、岡本、荻込、佐藤、砂野、高田、前田、大島（敬称略）、海谷の9名と、5年前は音信不通であった諸岡さんを迎えて10名が出席しました。

この祝賀会に参列しての感想は、諸岡さんを書いてもらおうと依頼したのですが、仕事が忙しいという理由で断られてしまい止む無く私がペンを取りました。

私は50周年記念行事の実行委員でもあり、準備の段階から関わってきましたので、とにかく出来るだけ多くの出席者を得て、盛大に式典を挙げられれば（これは菊地会長が実行委員長として会議のたびに強調し、念じておられましたので）という思いで当日を迎えました。

まず大勢の出席者に驚きました。卒業以来30～40年振りという先輩・後輩と再会し、初めはちょっと戸惑いながら“見覚えあるけど誰だっけ？”としばし睨めっこ、

いや見つめ合い“アッ〇〇さん、△△ちゃん”抱擁、握手……。これは私だけではなく、受付フロア付近のあちこちで見受けられる光景でした。

この後の式典、祝賀会の感想は、同期の岡本さんにお任せして、私は二次会からのことについて書いてみたいと思います。

二次会は1期から何期まで居たのか定かではありませんが、70名近くの人たちが新宿の栄寿司第2号店（ここは例年桜樹会有志による新年会が行われている店です）に集まりました。日大会館からそれぞれの期ごとにこの寿司店に向かって来たのですが、途中、電車の中で一緒になり、思わず私は添乗員の気分になり、ハンカチを振って引率してしまいました。予定では1期から7期が合同で二次会をやりましょうということでしたが、行ってみると栄寿司の3階の会場はすでに満席状態でした。

日大会館で「じゃあまたね！元気でね！」と別れてきた後輩も着席していて、「あれっ！またってここだったの？」と笑ってしまいました。グューグュー詰めのゴチャゴチャ状態で会話が飛び交い、それはそれは楽しい二次会になりました。ゴチャゴチャになっても、世代が入り混じっても、日大体操部で学生時代を過ごしたという共通項があるから話題は尽きず、栄寿司の3階がパンクするのではと心配になるほど盛り上がりました。

私自身、今振り返ってみても誰と何を話したのかまったく覚えていませんが、誰かの頭を叩いたような、誰かとホッペをくっつけたような、誰かと握手をしたような、そんな思いだけが頭を過ぎります。

そんな盛り上がり状態で散会し、今度はサンルートホテル泊まり組が場所を替えて三次会となりました。そこでは5~6人向かい合わせの席ですぐ上の先輩と同席でしたので、学生時代の思い出話をたっぷりとすることができました。当時すぐ上の先輩は男子だけで、その男子先輩の教育、躰がとてと厳しく大いに反抗した記憶が蘇えり、「先輩、怖かったですよ！」と当時の感情になり、酒の力も借りて勢いよく言っはみたものの、今はすべてが懐かしく、40年を経て再会した先輩たちとまたこうして話が出来る嬉しさに胸が熱くなる思いでした。日大体操部に入れてもらって良かったな、桜樹会に入って良かったな、幹事を続けてきて良かったな、としみじみ感じた夜でもありました。

私たち7期のメンバーも2年前に一人欠け、現在病気と付き合いながら出席してくれたメンバーもいて、年齢的にもれっきとした前期高齢者です。これからも体操部、桜樹会の集いには出来るだけ顔を出してお互いの無事を確かめ合いながら、齢を重ねても元気に先輩・後輩と今夜のような宴に同席していたいとつくづく思いました。



50年後の戦略を！

9期 今村 悟

1811年、ヤーンがベルリンのハーデンハイデに体操場を開設して体操が近代的な器械体操の体裁を整え、第1回近代オリンピックがアテネで開催された時から 体操競技は正式種目として採用され、第29回北京オリンピックの今日まで、オリンピックの花形種目として世界の人々を感動させ進化してきた。体操誕生から200年、体操は今後も進化し続けるであろうし、今後どのような名選手が出てくるか楽しみな部分があります。

このような歴史ある体操競技が日本に根付き、世界の体操をリードし続ける日本にあって、多くのメダリストや名選手を輩出したわが日本大学体操部が、創部50周年を迎えたことは大変な誇りであります。

その体操部創部50周年記念式典が、3月15日、東京の日本大学本部で盛大に行われました。

先生方や先輩、後輩、懐かしい顔や、初めて見る方等々、体操場でタンマのにおいと汗にまみれ、練習に明け暮れた青春が見事に脳裏をよこぎり、連帯感やなつかしさはもちろん、鮮明な記憶がよみがえった瞬間でもあります。大学生活4年間を体操に明け暮れた人達との再会は、青春時代の体操場は人生においてももっとも充実したひと時であり、人生の縮図でもあり、もっとも輝いていた青春でもあります。今日の自分の原点がここにあると感じた方も多かったのではないのでしょうか。

全国各地から266名にもおよぶOBが参加したということは、OB会が強い絆で結ばれている証拠でもあります。

このようなすばらしい体操部とOB会が今後どのようにあるべきでしょうか。

体操競技が様変わりした現在、少子化の影響や体操人口の減少、器具の高騰等問題が山積しています。このような難しい局面を迎えている今日の状況を、将来どのようにして打開していくのか、次の50年を見据えて私は次のことを提案する次第です。

○桜樹会内に将来構想委員会を立ち上げ、部会等を設置し、長い時間をかけた議論をしていく必要がある。

- ① 現役とOB会のあり方について
- ② 現役選手・OB会合同部会を設ける。
(現役選手の悩みや希望を聞く場)
- ③ 現役選手サポート制度の導入(他学部の学生や教員、OB会有志等)

プロジェクトチームを立ち上げ、OG・OGと現役学生のあり方、OB会はどのような会であるべきか等、システムの構築と、日本大学全体の学部や知能を結集していく必要があると感じます。

世界は日々変化しています。グローバル化の流れの中で、世界を見据えた選手の養成や戦略が求められると感じ、提案した次第です。

すばらしいOB会や体操をこよなく愛する人々がますます発展することを願っています。

今回の記念式典は、大成功裏に終えることができました。桜樹会菊地君男会長をはじめとする役員の皆様に最大限のお礼を申し上げ、次回の再会が近いことを祈ります。

もう一つの祝賀会

—11期“還暦を祝う集い”—

11期 原 弘吉

体操部創部 50 周年祝賀会の前夜、体操部 11 期は東京ドームで“還暦を祝う集い”を開催した。卒業してから 4 回目となる同期の会は、有元（旧姓伊原）幹事の「どうせやるなら泊まりでやりましょうよ」のひと声で東京ドームでの宿泊開催となった。

今まで後ろを振り返ることなくガムシヤラに突き進んできた我々も、人生の折り返し地点を過ぎて前方に目をやると、あの体操場で共に汗を流している仲間に見えるかもしれない。忘れかけていた自分に会えるかもしれない。そんな想いで、全国から 13 名が集まってくれた。

開宴の前に、山本から「宇野が脾臓ガンと闘っている」と伝えられる（残念ながら 3 日後の 3 月 17 日に他界）。宇野は 3 年前の同期会にも参加できず、今回を楽しみにしていただけに残念でならない。2 年前の山田隆士の訃報（7 月 20 日）にも「早すぎる」と涙していた宇野が思い出される。

しんみりとしたスタートとなったが、椎野校長が「遅れてゴメ〜ン、定年前に裁判を抱えていてさ・・・タ〜イヘン」の挨拶で場は和み、参加者の近況報告が始まった。北海道から来た舟山は体操教室（NPO）を立ち上げ子供達の育成に努めているとのことだが、職業病の腰痛が辛そうだ。秋田からは廣川校長（旧姓川口）が定年を間近に控えての忙しい中を駆けつけてくれた。我々の学生時代は秋田県人が圧倒的に多く、秋田弁が体操部の標準語となっていたが、

廣川も相変わらず流暢な標準語で語りかけてくれた。

福島からも定年を控えている松田が参加、長年指導してきた団体徒手から、やっと開放されての安堵の様子が伝わってくる。仙台の梅本（旧姓仁木）は、遠藤先生の古希のお祝いにと自作の“掛け軸”を持って日帰りで参加してくれた。療養中の遠藤先生も喜んでいただけそうだ（翌日、幸一君へお渡しする）。

21:30 宴会場を後にして、東京ドーム内のレストランへ二次会の席を移す。そこへ、白髪を載せた柔和な笑顔の“鍼灸師大原”が駆けつけてくれた。改めて乾杯をし、慌ただしく三次会の席をドームホテルへ移す。大原は舟山の腰痛治療をしてから終電車に飛び乗る。「大原アリガトウ！」。“愛媛から参加の三木”と“既に退職して悠々自適の大塚”は早々にベッドへ、他の 8 名（里中、有元、山本、綱島、松田、廣川、舟山、原）は幹事部屋で 38 年前にタイムスリップ。話題の提供者は、やはり山本好隆。懐かしい体育館、合宿所、寮、共に汗した先輩・後輩、そして若かりし頃の自分とも出会えた。堂々巡りの話も、そろそろ終宴に近付いたようだ。幹事から「明日のザリが早いから寝よう」との締め言葉で部屋に散る。すでに 2 時を回っていた。

翌朝、電話の音で起こされる。思わず「ザリか？」、受話器を取ると三木から「築地へ寿司を食いにイクベ〜」のお誘い。山本「13 時までルームチャージしておくから御前達で行って来い」、綱島・原と再びベッドへもぐり込む。5 名（舟山、大塚、松田、廣川、三木）はタクシーで築地へ向かったようだ。

有元、里中の女性陣は早朝にチェックアウトしていた。たわいの無い話に、最後まで付き合ってくれてありがとう。

11:00頃、流石に腹が減って来た。窓から外を見下ろすと野外ステージではスタントマンがリハーサルをやっている。昨夜の土砂降りで空気が澄み切っている。3人(山本・綱島・原)はホテルレストランでランチタイム。築地へ行ったグループは13時を回って、ようやく戻ってきた。道産子の舟山が「やっぱり、築地の寿司は旨いわ!」とエラく感動していた。

さて、原「夜の祝賀会までどうする?」。松田「ここまで来たら、場外馬券場ダベ〜!」、舟山「大塚! 寄席でも行くか」、三木「俺は久しぶりに家族の元へ帰るわ!」、山本「綱島! ラクアの岩盤浴さ行くか〜?」、綱島「ア〜ア!」・・・相変わらず身勝手な奴が多い、なのにイザとなれば妙に纏まる。幹事「11期の同期会は、これで最後だゾー」。松田「ダメだー、今度福島でヤルベー」。どうやら、幹事を降りられそうだ。

こうして、もう一つの祝賀会“還暦を祝う集い”は終わった。

追悼：3月20日、山本・塚田・斉藤・原の4名は、宇野に別れを告げたく、東京駅6時12分の新幹線に飛び乗り、山形に向かった。火葬場で宇野との再会を果たすが、余りにも痩せ細った形相に言葉が出ない。奥様(旧姓柴田、同期)は約2ヶ月間、ただただ現実と向き合って看病されたとのことで、辛いと感じる余裕すら無かった様だ。宇野が真っ赤な炎に包まれるのを見届けて火葬場を後にした。寮一期生(佐藤吾一)の“チョット亭(そば屋)”で献杯をし、再び東京へ向かった。

11期は山田寿美(平成13年11月27日逝去)、山田隆士(平成18年7月20日逝去)に次いで3人目の仲間を失うことになった。改めてお三方のご冥福をお祈りします。



体操部創部 50 周年記念行事に参加して —感謝—

29 期 水島 宏一

現在、私は東京学芸大学で体操部の指導をしています。体操部といっても日本大学のような大所帯ではなく、男女合わせて 4 人の小さな部です。このような小さな部を指導しているせいなのか、体操部創設 50 周年記念行事に出席したときには、出席者の多さ、そして、50 年間も活動をし続けていることのすごさを感じました。特に 50 年の間に東インカレ、全日本インカレ、全日本選手権大会、ユニバーシアード大会、アジア大会、世界選手権大会、オリンピック大会と国内外問わず、日本大学の選手が活躍し続けていることに偉大さを感じました。

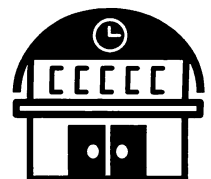
しかし、私が学生だったときには、正直このような偉大な部に所属していることの認識はありませんでした。それもそのはず、学生の時には授業に出て、自分の好きな体操競技の練習をするだけで、部の運営など何も考えていませんでしたから。それでも、4 年生の時には主将という部の長を務め、部員をまとめることをしてきましたが、基本的に合宿所の生活や練習といった部の運営の一部に関係する仕事だけで、部全体の運営に関係することには関わっていませんでしたから。これは、学生なので当然のことですが・・・

そこで、何が私に日本大学体操部の組織の偉大さを感じさせたのか考えてみました。その結果、次の 2 つが考えられました。ひとつは、客観的に外側から日本大学体操部

を見ることができたこと。これは、同じ組織の中にいると、外から見てすばらしいことであっても、その組織の中にいると当たり前のことになってしまうこと。つまり、すごいことでも、そのすごさに気付かなくなってしまいます。もうひとつは、現在、大学という大組織の中で、部という小組織を運営する側に立ち、運営することの難しさを知ったことです。これは、組織というものは、それぞれに役割があり、その役割を果たせないと組織の歯車がうまく噛み合わなくなってしまい、スムーズに運営できなくなってしまいます。そこで経営者側は、組織が円滑に動くように、組織に関わる人を適材適所に就かせるわけです。これらのことを私は、日本大学体操部に所属した 4 年間で知らないうちに学び、現在の職場で何気なく仕事をしているということをこの会に出席して気付きました。

一言で体操部創部 50 周年と言いますが、50 年間も活動を続けるためには、体操部を運営する側と、現場で選手を指導する側との相互の関係がうまくいっているからこそできることだと思っています。部を運営する側の顧問、部長、監督そしてコーチ。また、部をバックアップしてくださる桜樹会のみなさまの姿を見て学んできたことです。

これからも 60 周年、70 周年・・・100 周年を迎えることができることを期待しています。



50周年記念式典・祝賀会に至るまで

44期 佐藤 佑介

いくつもの談笑が重なる会場は、人で溢れているにもかかわらず、その喜色からも皆が居心地の良さを感じていることが伝わってくる。

そもそも、この会のためのプロジェクトが始まったのは、1年以上前のことである。当初の不安は、会への参加者が集まるかどうかであった。したがって、いかにして体操部卒業生に対して会への参加を呼びかけるかが、必然的に課題となった。その課題を解決するために、卒業期ごとに幹事を決定し、その幹事から同期へ参加を呼びかけるという方法がとられた。地道ではあるが、最も確実な方法である。その効果は次第に表れた。会のための最後の会議では、推定参加者数が200名を超えることが報告された。その後も参加予定者は増加し、最終的には推定参加者数が350名を超え、会場に参加者が入りきるだろうかといった嬉しい問題も生じた。

会場で桜樹会関係者が談話する様子を見ると、実行委員会の当初の心配は、杞憂であった気もする。もちろん、菊地会長をはじめ、実行委員会、幹事の努力が実を結んだことは疑いようもない。桜樹会関係者皆が、日本大学体操部に対する、無償の祝意で満ちていたのだろう。

参加者のそれだけの気持ちを酌むためにも、準備段階に余念があつてはいけなかった。実行委員それぞれが、自分に与えられた作業をこなしたことはいうまでもない。

開催の半年ほど前、式次第の作成作業に

入った。この時点での問題は2点。1点目は、こういった内容を式次第に載せるか、2点目は、その内容に関するデータを、どのように調べるかであった。

1点目は、菊地会長、遠藤総務のアドバイスのもと、「50周年の歩み」「歴代部長、副部長、監督、コーチ」「歴代主将、総務」「体操部の成績」に決定した。

問題は2点目であった。ある程度の資料により、だいたいの事項を調べ上げることはできた。手古摺ったのは、「歴代主将、総務」および「50周年の歩み」である。

私が体操部に入部し、現在に至るまでは、たかだか10年弱である。50周年の重みは感じながらも、その内容を記述するには知識が少なすぎた。

途方にくれていた時、ある一筋の光明が差した。それが、先輩方が残した「25周年記念誌」をはじめとする、桜樹会会報である。

先輩方が文字として残した、まさに50周年の軌跡をなぞることで、次第は完成させることができた。桜樹会会報がなければ、確実に今回の次第を完成させることはできなかった。それだけに、会報を発刊し始めた、先輩方に感謝の気持ちを持っていなければいけないと、式次第の作成を通して強く感じた。これからも会報を通して、体操部の軌跡を印していくことは、日本大学体操部にとって財産となるだろう。

受付を通り抜け、会場へと入ると、40期台の卒業生が祝杯を酌み交わっていた。見慣れた彼らは、「N」のマークを胸につけ演技していたあの頃と、少しも変わらずに体操談義に花を咲かせていた。

【記念行事式次第縮小版】

歴代体操部長・副部長・監督・コーチ

体操部部長	
初代	1957年～1963年 秋園 登太郎
二代	1963年～1969年 早田 卓次
三代	1970年～1981年 渡田 健一
四代	1982年～1995年 門脇 幸男
五代	1996年～1999年 渡邊 尊雄
六代	2000年～現在 早田 卓次
体操部副部長	
初代	2005年～2004年 渡田 健一
二代	2005年～現在 野野 正夫
体操部監督	
初代	1956年～1969年 門脇 幸男
二代	1970年～1981年 渡邊 尊雄
三代	1982年～1999年 早田 卓次
四代	2000年～現在 横山 広尚
体操部コーチ	
1953年～1969年	門脇 初子
1969年～1969年	渡邊 尊雄
1963年～1981年	早田 卓次
1963年～2001年	本村 多壽
1974年～1977年	五十嵐 久人
1976年～1978年	上野 剛
1976年～1977年	高野 典代子
1976年～1996年	横山 広尚
2000年～現在	横山 広尚
2002年～現在	島津 彰子
2004年～2007年	山口 繁博
2006年～現在	早田 卓次
2007年～現在	内田 友寿

日本大学校歌

作詞：相馬御風 作曲：山田耕祜

1. 日に日に新たに 文化の華の
さかゆく世界の 曠野の上に
朝日と輝く 國の名食いて
凜然と立ちたる 大学日本
正義と自由の 旗幟のもとに
集まる学徒の 使命は重し
いざ讀めん 大学日本
いざ歌わん われらが理想

日本大学保健体育審議会体操部
創部50周年記念式典・祝賀会



2. 四海に先んじ 日いつる國に
富強とゆるがぬ 雄学の基礎
榮ある歴史の 道一すじに
向上息まざる 大学日本
治世の一念 炎と燃ゆる
われらが行く手の 光を見よや
いざ讀めん 大学日本
いざ歌わん われらが理想

期日
平成20年3月15日(土)

会場
日本大学会館 大講堂

全日本選手権大会 男子団体総合優勝 2回
全日本学生選手権大会 男子団体総合優勝 9回
全日本学生選手権大会 女子団体総合優勝 1回
東日本学生選手権大会 男子団体総合優勝 7回

日本大学保健体育審議会体操部
日本大学校樹会

記念式典次第

司会：小栗 都那

- 一、開式の辞 桜樹会会長 菊地 啓男
- 一、式辞 体操部部長 早田 卓次
- 一、来賓祝辞 部長・理事長 小嶋 勝尚
常務理事・保健体育審議局長 田中 英壽
- 一、感謝状贈呈 歴代部長・歴代監督・
オリンピック等国际大会出場者

- 一、記念品贈呈
- 一、閉式の辞 桜樹会副会長 藤見 真人

祝賀会次第

司会：小栗 都那

- 一、開会の辞 桜樹会副会長 高田 信興
- 一、饗問き ご来賓代表
- 一、乾杯 桜樹会名誉会長 石井 匠也
- ～ご歓談～
- 一、役員紹介 体操部監督 横山 広尚
- ～ご歓談～
- 一、校歌斉唱
- 一、閉会の辞 記念行事実行委員会代表
渡邊 尊一
(録音)

創部50周年の歩み

年次	体操部活動
1956(昭和31)	同好会体育部として創部
1957(昭和32)	日本大体育会体操部として復活 インカシ部 男子団体総合(1)優勝
1960(昭和35)	運動部編成、学生部(現学生部)創設 インカシ個人総合格賞(1)獲得
1961(昭和36)	専任教授、後援(建設省)増員 インカシ個人総合格賞(日本大にとって初)獲得
1961(昭和36)	日本大学校歌創成
1964(昭和39)	運動部編成、専任教授、後援(建設省)増員 東京オリンピック代表
1966(昭和41)	女子インカシ部創設
1968(昭和43)	運動部編成、専任教授、後援(建設省)増員 メソクワオオリンピック代表
1971(昭和46)	体操部編成、専任教授、後援(建設省)増員 メソヘンオリンピック代表
1973(昭和48)	男子インカシ団体総合優勝
1974(昭和49)	男子インカシ団体総合優勝
1979(昭和54)	男子インカシ団体総合優勝
1979(昭和54)	福山広尚、五十嵐久人 山崎啓博、早田卓次(監督)贈呈 オリンピック代表
1977(昭和52)	男子インカシ団体、現日の優勝
1978(昭和53)	男子インカシ団体、上座で現日の優勝
1980(昭和55)	山崎啓博、山崎啓博 メソクワオオリンピック代表
1984(昭和59)	山崎啓博、早田卓次 オリンピック代表
1984(昭和59)	男子インカシ団体、現日の優勝
1987(昭和62)	男子インカシ団体、現日の優勝
1988(昭和63)	男子インカシ団体、現日の優勝 本島直一、島津彰彦、早田卓次(監督)贈呈 ソウルオリンピック代表
1990(昭和65)	男子インカシ団体、現日の優勝 男子全日本選手権団体総合優勝
1992(昭和67)	知本寿、佐藤幸夫、佐藤幸夫、原川大剛 メソクワオオリンピック代表
1994(昭和69)	佐藤幸夫、佐藤幸夫(監督)贈呈 アトランタオリンピック代表
1997(昭和72)	男子全日本選手権団体、現日の優勝
2004(平成17)	早野純実 シドニーオリンピック代表

歴代主将・総務

年次	主将	総務	総務代
1956		5	平沢 昌司 大塚 宏
1957	石井 匠也	29	岡崎 孝子 山崎 啓博
1958	石井 匠也	34	伊藤 隆夫 渡田 健一
1959	石井 匠也	46	伊藤 隆夫 渡田 健一
1960	平川 裕也	44	石井 匠也 渡田 健一
1961	佐藤 幸一	48	石井 匠也 渡田 健一
1962	渡田 健一	58	水島 宣一 松岡 昌子
1963	渡田 健一	61	渡田 健一 渡田 健一
1964	渡田 健一	64	渡田 健一 渡田 健一
1965	渡田 健一	68	渡田 健一 渡田 健一
1966	渡田 健一	77	渡田 健一 渡田 健一
1967	渡田 健一	77	渡田 健一 渡田 健一
1968	渡田 健一	132	渡田 健一 渡田 健一
1969	渡田 健一	146	渡田 健一 渡田 健一
1970	渡田 健一	146	渡田 健一 渡田 健一
1971	渡田 健一	146	渡田 健一 渡田 健一
1972	渡田 健一	159	渡田 健一 渡田 健一
1973	渡田 健一	70	渡田 健一 渡田 健一
1974	渡田 健一	70	渡田 健一 渡田 健一
1975	渡田 健一	98	渡田 健一 渡田 健一
1976	渡田 健一	98	渡田 健一 渡田 健一
1977	渡田 健一	105	渡田 健一 渡田 健一
1978	渡田 健一	126	渡田 健一 渡田 健一
1979	渡田 健一	126	渡田 健一 渡田 健一
1980	渡田 健一	126	渡田 健一 渡田 健一
1981	渡田 健一	122	渡田 健一 渡田 健一
1982	渡田 健一	122	渡田 健一 渡田 健一
1983	渡田 健一	121	渡田 健一 渡田 健一
1984	渡田 健一	103	渡田 健一 渡田 健一
1985	渡田 健一	85	渡田 健一 渡田 健一
1986	渡田 健一	70	渡田 健一 渡田 健一
1987	渡田 健一	53	渡田 健一 渡田 健一
1988	渡田 健一	53	渡田 健一 渡田 健一
1989	渡田 健一	53	渡田 健一 渡田 健一
1990	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1991	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1992	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1993	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1994	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1995	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1996	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1997	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1998	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
1999	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
2000	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
2001	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
2002	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
2003	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
2004	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
2005	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
2006	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一
2007	渡田 健一	51	渡田 健一 渡田 健一

記念式典次第

司会：小栗 郁郎

- 一、開式の辞 桜樹会会長 菊地 君男
- 一、式辞 体操部部长 早田 卓次
- 一、来賓祝辞 総長・理事長 小嶋 勝衛
常務理事・保健体育事務局長
田中 英壽
- 一、感謝状贈呈 歴代部長・歴代監督
オリンピック等国際大会出場者
- 一、記念品贈呈
- 一、閉式の辞 桜樹会副会長 鶴見 興人

祝賀会次第

司会：小栗 郁郎

- 一、開会の辞 桜樹会副会長 高田 信興
- 一、鏡開き ご来賓代表
- 一、乾杯 桜樹会名誉会長 石井 征也
- ～ご歓談～
- 一、部員紹介 体操部監督 梶山 広司
- ～ご歓談～
- 一、校歌斉唱
- 一、閉会の辞 記念行事実行委員会代表
遠藤 幸一
(略 敬称)

創部50周年の歩み

年度	体操部関連
1956(昭和31)	同好会体操部として発足
1957(昭和32)	日本大学体育会体操部として承認 インカレ2部 男子団体2位で1部昇格
1960(昭和35)	遠藤幸雄, 曾我部(現姓門脇)和子 ローマオリンピック代表
1962(昭和37)	早田卓次, 渋谷(現姓木村)多喜 インカレ個人総合優勝(日大にとって初タイトル獲得)
1963(昭和38)	日本大学桜樹会創立
1964(昭和39)	遠藤幸雄, 早田卓次, 渋谷(現姓木村)多喜 東京オリンピック代表 (第2体育館体操場が東京オリンピックの練習会場に)
1966(昭和41)	女子インカレ団体初優勝
1968(昭和43)	遠藤幸雄, 早田卓次, 渋谷(現姓木村)多喜 メキシコオリンピック代表
1972(昭和47)	矢部(現姓山崎)信恵, 宮本(現姓佐々木)敏子 ミュンヘンオリンピック代表
1973(昭和48)	男子インカレ団体初優勝
1974(昭和49)	男子インカレ団体2連覇
1975(昭和50)	男子インカレ団体3連覇
1976(昭和51)	梶山広司, 五十嵐久人, 山崎信恵, 林田(現姓錦井)房美 モントリオールオリンピック代表
1977(昭和52)	男子インカレ団体, 4度目の優勝
1979(昭和54)	男子インカレ団体, 5度目の優勝
1980(昭和55)	梶山広司, 山脇恭二 モスクワオリンピック代表
1984(昭和59)	山脇恭二, 平田倫敏, 小野田博之 ロサンゼルスオリンピック代表
1986(昭和61)	男子インカレ団体, 6度目の優勝
1987(昭和62)	男子インカレ団体, 2連覇で7度目の優勝
1988(昭和63)	男子インカレ団体, 3連覇で8度目の優勝 水島宏一, 佐藤寿治, 西川大輔(清風高校) ソウルオリンピック代表
1990(平成2)	男子インカレ団体, 9度目の優勝 男子全日本選手権団体初優勝
1992(平成4)	知念孝, 佐藤寿治, 松永政行, 西川大輔 バルセロナオリンピック代表
1996(平成8)	佐藤寿治, 関根(現姓鈴木)彩(藤村女子高校) アトランタオリンピック代表
1997(平成9)	男子全日本選手権団体, 2度目の優勝
2000(平成12)	岩井則賢 シドニーオリンピック代表

—— 歴代体操部部长・副部长・監督・コーチ ——

体操部部长

初代	1957年～1962年	秋葉 安太郎
二代	1963年～1969年	平野 平三
三代	1970年～1981年	濱田 靖一
四代	1982年～1995年	門脇 春男
五代	1996年～1999年	遠藤 幸雄
六代	2000年～現在	早田 卓次

体操部副部长

初代	2000年～2004年	渡辺 馨
二代	2005年～現在	前野 正夫

体操部監督

初代	1956年～1969年	門脇 春男
二代	1970年～1981年	遠藤 幸雄
三代	1982年～1999年	早田 卓次
四代	2000年～現在	梶山 広司

体操部コーチ

1958年～1969年	門脇 和子
1959年～1969年	遠藤 幸雄
1963年～1981年	早田 卓次
1963年～2001年	木村 多喜
1974年～1977年	五十嵐 久人
1976年～1978年	上野 剛
1976年～1977年	海谷美代子
1976年～1999年	梶山 広司
2000年～現在	西川 大輔
2002年～現在	長澤 郁子
2006年～2007年	山口 悠樹
2006年～現在	日向 小百合
2007年～現在	内田 友幸

歴代主将・総務

年度	主将	総務	部員数
1956			9
1957	石井 征也	稲橋 恒行	29
1958	石井 征也	稲橋 恒行	34
1959	石井 征也	稲橋 恒行	46
1960	平川 文雄	古市 和也	64
1961	辻 健一	阪本 尚	68
1962	早田 卓次	菊地 君男	85
1963	山中 勝男	志賀 正昌	84
1964	真島 孝禮	鶴見 興人	77
1965	藤田 一	砂野 泰男	98
1966	橋口 泰武 宮崎 節子	安田 和明	132
1967	朝倉 徳雄 佐久間 寛美	初山 芳雄	146
1968	堀田 敏明 吉田 恭子	高波 司雄 浦辺 由子	166
1969	山本 好隆 仁木 文子	伊谷 正一 岡田 美恵子	159
1970	佐藤 均 稲谷 清子	辻岡 寛 齋藤 章子	70
1971	椎名 昇 宮川 早苗	菅野 秀俊 田中 千文	98
1972	五十嵐 久人 河内 余志子	外山 宜男	105
1973	住廣 晃 矢部 信恵	土屋 史郎 高田 ゆう子	126
1974	寺元 良人 林田 房美	鈴木 良之 小谷 幸子	126
1975	梶山 広司 宮本 敏子	寛山 秀成 中島 節子	125
1976	千田 修平 小川 美弥子	大友 栄紀 鈴木 智加子	121
1977	藪野 睦明 伊藤 三千子	中村 秀二 吉野 こずえ	103
1978	瀬戸 伸一 内田 俊子	加藤 博章 吉野 こずえ	85
1979	山脇 恭二 西沢 真里子	高見 等 三本松 純子	70
1980	国井 信行 高橋 亜子	岡島 耕一 渡辺 幸子	53
1981	早瀬 幸博 片山 みちる	吉盛 武光 宮本 知加子	53
1982	市原 邦彦 湯川 誠子	吉盛 武光 木島 智代	51
1983	小野田 博之 田中 千春	大塚 宏 猪野木 明美	51
1984	千代 恭司 岡崎 格子	大塚 宏 山中 百合子	57
1985	島田 利夫 伊藤 奈美	吉川 秀之 佐藤 晶子	59
1986	石川 幸一 阿部 幸子	星沢 秀一 佐藤 晶子	68
1987	水島 宏一 平田 正美	加藤 嘉明 古野 民世	67
1988	小林 隆 辻本 容子	松原 良和 近藤 修子	63
1989	田村 真 長澤 郁子	佐藤 徹 中野 久美	63
1990	佐藤 寿治 増田 睦美	喜多川 和也 小林 美穂	64
1991	竹田 盛勝 須田 千絵	山本 昭二郎 橋尾 里華	60
1992	西川 大輔 伊東 美智子	岩田 剛 宮本 しおり	60
1993	増田 宏正 太田 真由美	宮根 豊 土屋 香代	60
1994	林 秀樹 清水 智子	関根 功 中瀬 絵里	54
1995	今木 重光 美崎 雅恵	杉本 利昭 藤田 まゆみ	58
1996	林 弘策 角 雅代	後藤 靖治 加藤 敦子	52
1997	小林 正明 越智 弥生	小沼 弘明 中路 さほり	47
1998	岸本 拓也 小関 弘未子	秦 剛一 鈴木 亜矢	46
1999	平本 将人 浅見 美鈴	鎌田 康秀 山野 千美由	31
2000	高橋 勇騎 関根 彩	濱崎 誠 井野 里奈	48
2001	木村 光 井上 あい子	葛西 玲広 齋藤 みずき	46
2002	古市 正樹 日向 小百合	野村 俊介 利根 彩恵	47
2003	芳村 裕生 山北 恵理子	松谷 育英 山本 加奈絵	48
2004	笹村 昌宏 錦井 智子	石渡 幸一 小野 鮎子	51
2005	飯嶋 顕 村田 麻衣子	伊藤 昇 松永 百合江	51
2006	西峯 賢二 後藤 沙織	福島 良次 新井 麻衣	48
2007	田中 和仁 立石 絵里	関 圭一朗 佐橋 春枝	48

オリンピック・世界選手権・ユニバーシアード出場者

卒業期	氏名	出場大会名
3	辻 健一	1961ユニバーシアード(ソフィア)
4	早田卓次	1963ユニバーシアード(ポートアレグレ)・1964東京オリンピック
		1968メキシコオリンピック・1970世界選手権(リュブリアナ)
	渋谷多喜(現姓木村)	1962世界選手権(プラハ)・1964東京オリンピック 1965ユニバーシアード(ブダペスト)・1966世界選手権(ドルトムント) 1968メキシコオリンピック
8	山上恵子(現姓松岡)	1967ユニバーシアード(東京)
11	原 弘吉	1970ユニバーシアード(トリノ)
12	稲谷清子(現姓田中)	1970ユニバーシアード(トリノ)
14	五十嵐久人	1976モントリオールオリンピック
15	矢部信恵(現姓山崎)	1972ミュンヘンオリンピック・1973ユニバーシアード(モスクワ)
		1974世界選手権(バルナ)・1976モントリオールオリンピック
16	錦井利臣	1973ユニバーシアード(モスクワ)・1979世界選手権(フォートワース)
	林田房美(現姓錦井)	1973ユニバーシアード(モスクワ)・1974世界選手権(バルナ)
		1976モントリオールオリンピック
17	梶山広司	1973ユニバーシアード(モスクワ)・1974世界選手権(バルナ)
		1976モントリオールオリンピック・1977ユニバーシアード(ソフィア)
		1978世界選手権(ストラスブール)・1979世界選手権(フォートワース)
		1980モスクワオリンピック日本代表
宮本敏子(現姓佐々木)	1972ミュンヘンオリンピック	
19	金居俊郎	1981世界選手権(モスクワ)
	松本俊一	1977ユニバーシアード(ソフィア)
21	平田倫敏	1983世界選手権(ブダペスト)・1984ロサンゼルスオリンピック
	山脇恭二	1979ユニバーシアード(メキシコ)・1981世界選手権(モスクワ)
		1981ユニバーシアード(ブカレスト)・1984ロサンゼルスオリンピック 1985世界選手権(モントリオール)・1980モスクワオリンピック日本代表
23	峯田孝幸	1983ユニバーシアード(エドモントン)
	早瀬幸博	1987世界選手権(ロッテルダム)
25	小野田博之	1983世界選手権(ブダペスト)・1983ユニバーシアード(エドモントン)
		1984ロサンゼルスオリンピック
	渡辺光昭	1983世界選手権(ブダペスト)・1985ユニバーシアード(神戸) 1985世界選手権(モントリオール)
26	岡崎裕子(現姓小内)	1979世界選手権(フォートワース)(当時国学院高校)
29	水島宏一	1987ユニバーシアード(ザグレブ)・1987世界選手権(ロッテルダム)
		1988ソウルオリンピック
30	知念 孝	1991世界選手権(インディアナポリス)・1992バルセロナオリンピック
32	佐藤寿治	1988ソウルオリンピック・1989世界選手権(シュツットガルト)
		1992バルセロナオリンピック・1994世界選手権(ドルトムント)
		1995世界選手権(鯖江)・1996アトランタオリンピック
33	松永政行	1989世界選手権(シュツットガルト)・1991ユニバーシアード(シェフィールド)
		1991世界選手権(インディアナポリス)・1992バルセロナオリンピック
		1993ユニバーシアード(バッファロー)・1994世界選手権(ドルトムント)
		1995世界選手権(鯖江)
34	西川大輔	1988ソウルオリンピック(当時清風高校)・1989世界選手権(シュツットガルト)
		1991ユニバーシアード(シェフィールド)・1991世界選手権(インディアナポリス)
		1992世界選手権(パリ)・1992バルセロナオリンピック
		1993世界選手権(バーミンガム)・1993ユニバーシアード(バッファロー)
		1994世界選手権(ブリスベン)・1994世界選手権(ドルトムント)
1995世界選手権(鯖江)・1997世界選手権(ローザンヌ)		
35	増田宏正	1995ユニバーシアード(福岡)・1995世界選手権(鯖江)
36	岩井則賢	2000シドニーオリンピック・2001世界選手権(ゼント)
40	岸本拓也	1997世界選手権(ローザンヌ)
42	関根 彩(現姓鈴木)	1996アトランタオリンピック(当時藤村女子高校)
45	芳村裕生	2003ユニバーシアード(テグ)
4年生	田中和仁	2007ユニバーシアード(バンコク)

来賓出席者一覧（41名）

小嶋勝衛	総長・理事長	高木長之助	文理学部
酒井健夫	副総長・生物資源科学部長	土肥正晴	生物資源科学部事務長
田中英壽	常務理事・保健体育事務局長	稲垣治之	生物資源科学部
森山憲一	理事	松橋明宏	生物資源科学部
近藤正勝	総合学生部長	前野正夫	体操部副部長
三ツ井直紀	保健体育事務局次長	濱田靖一	桜樹会顧問
斉藤政之	保健体育事務局	門脇春男	桜樹会顧問
小川登美夫	保健体育事務局	勢能一男	桜樹会顧問
田邊大輔	保健体育事務局	井上由大	自転車部
村中 隆夫	保健体育事務局OB	上野広治	水泳部
石澤恒男	校友会事務局次長	梅下新介	ボクシング部
島方洗一	文理学部長	落合栄司	弓道部
加藤直人	文理学部次長	加藤敬夫	バレーボール部
笹岡弘虎	文理学部事務局長	小山裕三	陸上競技部（代理）
中野栄人	文理学部事務局次長	重田勇夫	ラグビー部
若松俊雄	文理学部事務長	難波謙二	重量挙げ部
加藤史夫	文理学部	萩原正芳	ハンドボール部
栳沢聖子	文理学部	見城忠昭	バドミントン部
北村辰夫	文理学部	水内正孝	ボート部
久保木優	文理学部	和田光司	ゴルフ部
吉本俊明	文理学部		

ご祝儀一覧（13名）

野田慶人	芸術学部長	渡辺整市	ヨット部
呉屋正盛	校友会事務長	富山英明	レスリング部
村上芳孝	総合学生部	鈴木 博	野球部
山本 厚	保健体育事務局OB	早坂毅代司	スキー部
川井 昂	文理学部	安藤 修	テニス部
野口智博	文理学部	吹奏楽部	
遠藤幸雄	桜樹会顧問	儀部忠通	桜樹会会員

会員出席者一覧 (266名)

石井征也	岩澤 稔	綱島路正	山崎信恵	渡辺美弥子
平川文雄	岡本公子	原 弘吉	荒井友雄	境 保則
堀田淳二	海谷美代子	舟山忠広	猪瀬宗子	松本俊一
芳尾 明	苅込和男	松田 明	北村弘文	松本真利子
吉川 晃	佐藤 勲	三木和一郎	小玉幸子	杉沼 誠
金子正史	砂野泰男	山本好隆	椎名 厚	岩井高志
春山文子	高田佳子	椎野芳挙	志村久子	遠藤孝之
米田賢一	前田千賀志	相原和明	鈴木良之	加藤真理
上野 剛	諸岡嘉春	菊地多美子	寺元良人	中村秀也
小俣里知子	大嶋 勇	田中清子	錦井利臣	藤平裕二
菊地君男	川口 亨	小笠原祥子	錦井房美	平田倫敏
木村多喜	近藤盛一	岡本みどり	西野晴久	松永二郎
坂田安世	橋口泰武	菅野秀俊	藤原和子	水島克己
高田信興	船木政明	斎藤敬一	矢野龍治	矢木幹男
高橋房雄	山内 悟	椎名 昇	大津卓也	山脇恭二
竹内 勇	林 昌幸	宮原久美子	岡崎恭児	山脇育子
田野 哲	赤井和子	塚田和茂	岡田洋二	国井信行
早田卓次	朝倉徳雄	塚田千津代	梶山広司	吉田清一
藤田幸男	伊藤寛美	徳永富夫	梶山節子	藤井幸信
礮部忠通	井上 靖	中谷秀明	酒井 清	森元潤一
小栗郁郎	今村 悟	山口次男	佐々木敏子	猪野木明美
金子洋平	常井晴道	五十嵐久人	松山禎一	遠藤幸一
小松武雄	籾山芳雄	木村邦博	黒崎淑行	小野田博之
志賀正昌	安藤泰行	田中章二	小貫孝春	佐々木藤雄
中島 元	門脇 隆	外山宜男	小貫恵津子	高橋千春
波多野 伸	近藤 明	森田 博	佐藤之俊	田嶋しのぶ
山中勝男	菅野多賀子	青木昭文	杉田智加子	堀 久美子
梅崎捷也	松本恭子	中川和昭	高橋知子	渡辺光昭
鶴見興人	森 昭雄	佐藤久恵	平田芳和	岩崎朗子
仲西盛光	渡部宣裕	住廣 晃	松田 洋	大塚 宏
真島孝禮	大塚文夫	谷田部光則	松田加津子	川畑龍雄

小内格子	竹澤千代	竹中 剛	葛西伸昭	山北恵理子
高橋有理	井本吉彦	君嶋孝之	河原 史	芳村裕生
千代恭司	川口雅志	佐伯崇嗣	小林正明	石渡幸一
藤田昌代	金野 東	中塚伸次	中路さほり	笹村昌宏
東島百合子	佐藤 徹	西川大輔	若山 卓	田村元永
八木宏克	田澤千晶	森泉貴博	岸本拓也	錦井智子
西 繁美	長澤郁子	田中栄一	秦 剛一	森 光大
殿垣哲也	遠藤 慶	増田宏正	門脇年宏	飯嶋 顕
矢嶋利康	大塚孝幸	宮根 豊	山野千英由	伊藤 昇
浮田聖子	山田美穂	清水智子	石丸悠佳	笠木翔平
野口愛子	藤原由文	関根 功	鈴木 彩	清水昭幸
大坂知恵	前野睦美	染谷忠勝	葛西 玲広	巻島晃一郎
中根 均	諸遊光代	林 秀樹	木村 光	村田麻衣子
古野民世	川西美也子	村山孝之	津久井みずき	山口悠樹
小林小百合	川崎聖子	吉田義経	半藤 京子	内田 友幸
水島宏一	石井千絵	大江晴久	岡崎恵美	福島 良次
山本新吾郎	竹田盛勝	後藤靖治	佐藤佑介	市角 仁
小林 隆	田中佳昭	佐藤弘典	能勢龍二	後藤 沙織
土持修子	豊田麻規子	秋田葉子	野村俊介	新井 麻衣
長谷川 靖	岸田里華	宮澤一道	日向小百合	
水島さだ子	宮崎真由美	林 弘策	田崎裕祐	
三川敦司	松永政行	青木佳彦	松谷育英	
佐伯佳奈子	三富洋昭	小沼弘明	松本陽奈	

訂正

記念行事当日に配付しました『式次第』「創部 50 周年の歩み」の表中、次の項が欠落していました。お詫びして訂正いたします。

1966(平成 8) 佐藤寿治、関根(現姓鈴木)彩(藤村女子高校) アトランタオリンピック代表

寄付金ご協力者一覧（受付順 255 名）

寄付金総額 1,451,000 円

村田麻衣子	椎名 昇	岩崎 朗子	宇野 正信	田中 栄一
田野 哲	小野田博之	斉藤 敬一	菅野 秀俊	村宮 弘晃
伊藤 勇	森 光大	石井 征也	渡辺美弥子	菊地多美子
千葉 本子	小俣里知子	小笠原光子	金居 俊郎	村上 吉正
工藤 昌二	錦井 利臣	二岡真美子	高橋 有理	住廣 晃
梶山 広司	藤原 和子	佐藤 誠	矢嶋 利康	大坂 知恵
安里 順一	柳井 実	寺元 良人	助信 昌俊	諸岡 嘉春
片岡 卓也	錦井 智子	西巻 洋一	芳村 裕生	境 保則
秦 剛一	三宅 美雄	松田 洋	堀田 淳二	佐古 直美
山口 悠樹	山崎 忠男	山本 一晴	保坂 弘一	高波 司雄
工藤 道弘	塚田 和茂	松本 恭子	浅田 泰男	戸澤 滋
小松 武雄	上野 剛	佐々木敏子	望月 敏正	佐藤 之俊
室屋 武子	木村 多喜	前田千賀志	山脇 恭二	川畑 龍雄
宮川 直人	小栗 郁郎	小玉 幸子	渡辺 光昭	竹中 剛
西峯 賢二	長澤 郁子	矢野 龍治	橋本 博之	城崎 大樹
早田 卓次	西川 大輔	足立 鈴子	伊藤 寛美	鶴見 興人
海谷美代子	伊藤 訓子	梅崎 捷也	初山 芳雄	佐藤 勲
大塚 文夫	砂野 泰男	和田 勝	水口 始女	垂石 守
梶 信昭	小貫 孝春	赤井 和子	岡本みどり	畑 みちる
久保 光正	近藤 明	原 弘吉	原田 一高	殿垣 哲也
松本 俊一	相原 和明	中根 均	桜井 一男	大塚 孝幸
春山 文子	中村 幸子	豊田麻規子	佐藤 寿治	藤原 由文
菊地 君男	平田 倫敏	清水 智子	三富 洋昭	島田 利夫
安藤 泰行	森元 潤一	金子 正史	菅野多賀子	野口 愛子
中谷 秀明	小柴 守夫	岩澤 稔	荒井 友雄	吉川 晃
鶴峰 亜子	井上 靖	大嶋 勇	東條 恭子	河島 勝行
小坂井一弘	谷田部光則	山内 悟	水島 宏一	芳尾 明
庄内総合体操部	志村 久子	山本 好隆	君嶋 孝之	外山 宜男
金子 洋平	大津 卓也	島崎 康行	林 弘策	猪瀬 宗子
朝倉 徳雄	高田 信興	田中 章二	市角 仁	中村 秀也
加藤 真理	真島 孝礼	岡田 洋二	吉田 義則	松永 二郎

小内 格子	鈴木 良之	松山 禎一	森田 博	佐々木 巖
石丸 悠佳	徳永 哲人	内田 友幸	山下 敦	杉田智加子
堀田 敏明	平川 文雄	高橋 房雄	大塚 宏	吉田 清一
小野 昌男	西坂三枝子	川口 亨	長谷川 靖	遠藤 幸一
大和 孝三	佐藤 徹	松田 明	矢木 幹男	佐々木藤雄
平田 芳和	北尾 雅代	安藤 久実	林 昌幸	梅田 陽子
杉沼 誠	小林 正明	寛山 秀成	三川 敦司	小笠原祥子
田嶋しのぶ	中川和昭-外	岡本 公子	五十嵐久人	宮原久美子
今村 悟	波多野 伸	梅本 文子	山野千英由	船木 政明
米田 賢一	近藤 盛一	竹内 勇	岸本 拓也	小沼 弘明
飯島 好美	黒崎 淑行	山崎 信恵	葛西 伸昭	松永 政行
木村 邦博	天童 毅	三木和一郎	酒井 清	堀 久美子
佐藤 久恵	西 繁美	森泉 貴博	猪野木明美	村山 孝之
椎名 厚	宮根 豊	竹田 盛勝	岡崎 恭児	小林 隆
田村 元永	橋口 泰武	松井登美枝	佐藤 弘典	藤原 由文
黒澤 誠	千野 良一	森 昭雄	苅込 和男	坂田 安世
志賀 正昌	舟山 忠広	西野 晴久	吉田 義経	関根 功
平野 昌宏	千代 恭司	高橋 千春	藤田 幸男	島田 利夫
柳沢 聖子	山本新吾郎	遠藤 慶	寺元 良人	小笠原光子
佐伯佳奈子	陰山 誠	山中 勝男	遠藤 孝之	池田 智美



遠藤幸雄先生退職慰労会

日時 平成19年4月21日

場所 センチュリーハイアット東京

式次第

開会の辞	日本大学桜樹会会長	菊地 君男
慰労のことば	日本大学桜樹会名誉会長	石井 征也
祝 辞	日本大学体操部部长	早田 卓次
記念品贈呈	日本大学桜樹会副会長	小俣里知子
花束贈呈		
謝 辞		遠藤 幸雄 先生
乾 杯	日本大学桜樹会顧問	勢能 一男
(懇 談)		
祝 辞	日本大学体操部監督	梶山 広司
祝 辞	日本大学桜樹会会員有志	
閉会の辞	日本大学桜樹会副会長	高田 信興

出席者一覧 (100名)

勢能一男	佐藤 勲	五十嵐久人	内田民雄	佐藤寿治
石井征也	橋口泰武	久保光正	佐藤之俊	君嶋孝之
堀田淳二	赤井和子	外山宜男	境 保則	西川大輔
芳尾 明	朝倉徳雄	山崎雅昭	塚越美和子	森泉貴博
吉川 晃	伊藤寛美	山崎信恵	岩井高志	田中栄一
上野 剛	井上 靖	猪瀬宗子	加藤真理	後藤靖治
小俣里知子	安藤泰行	柄沢康弘	藤平裕二	秋田葉子
菊地君男	近藤 明	北村弘文	藤井幸信	葛西 玲広
木村多喜	高波司雄	小玉幸子	猪野木明美	佐藤佑介
高田信興	菅野多賀子	志村久子	遠藤幸一	日向小百合
竹内 勇	松本恭子	鈴木良之	小野田博之	田崎裕祐
早田卓次	森 昭雄	寺元良人	田嶋しのぶ	森 光大
金子洋平	綱島路正	西巻洋一	小塚和子	飯嶋 顕
志賀正昌	原 弘吉	矢野龍治	大塚 宏	巻島晃一郎
山中勝男	舟山忠広	大津卓也	川畑龍雄	山口悠樹
鶴見興人	山本好隆	梶山広司	小内格子	田中 和仁
真島孝禮	相原和明	梶山節子	小林小百合	関 圭一朗
岩澤 稔	朝倉康雄	酒井 清	水島宏一	立石 絵里
岡本公子	岡本みどり	佐々木敏子	水島さだ子	佐橋 春枝
海谷美代子	菅野秀俊	西野良子	長澤郁子	水島 愛

記念品代ご協力者一覧

平川文雄
金子正史
工藤道弘
春山文子
佐藤 誠
高橋房雄
田野 哲
小栗郁郎
小松武雄
中島 元
浅田泰男
仲西盛光
千葉本子
小笠原光子
和田 勝
伊藤 勇
岩田 惇
小柴守夫
近藤盛一
常木節子
平野昌宏
船木政明
山内 悟
飯島好美
井上 博
門脇 隆
千野良一
今西悦子
大塚文夫
工藤昌二
松田 明
椎野芳拳

藤田純一
伊東恭一
梶 信昭
島崎康行
田中清子
前野冷子
松山もと子
山崎忠男
塚田和茂
徳永富夫
中谷秀明
中村栄喜
藤田力雄
青木文次
木村邦博
田中章二
森田 博
林 富久寿
谷田部光則
椎名 厚
錦井利臣
錦井房美
西野晴久
藤原和子
中森 勉
寛山秀成
久保田一行
小貫孝春
杉田智加子
平田芳和
松田 洋
室屋武子

渡辺美弥子
山本一晴
金居俊郎
山田秀二
巻島 久
松下悦子
松本俊一
垂石 守
正木恭子
後藤こずえ
山崎常雄
柏谷錦一
西澤眞里子
針替信之
平田倫敏
松永二郎
水島克己
山下 敦
山脇恭二
吉田清一
畑 みちる
長谷部薫
峯田孝幸
清水克彦
森元潤一
大里武光
高橋千春
桜井一男
千代恭司
島田利夫
玉内 幸子
竹村里香

大坂知恵
井本吉彦
金野 東
中山孝之
大塚孝幸
藤原由文
川西美也子
川崎聖子
石井千絵
豊田麻規子
宮崎真由美
竹中 剛
柳沢聖子
中塚伸次
吉田義経
伊藤訓子
大江晴久
内中敦子
北尾雅代
林 弘策
秦 剛一
斎藤由美子
山野千芙由
石丸悠佳
錦井 浩樹
松谷育英
山北恵理子
芳村裕生
錦井智子
伊藤 昇

126名

平成19年度 競技会成績

2007 第40回世界体操競技選手権大会第2次選考会
兼第24回ユニバーシアード大会第2次選考会 千葉・千葉ポートアリーナ 4月28日～29日

男子

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日目/2日目	合計
1	中瀬 卓也	徳洲会体操クラブ	15.650	14.050	15.550	15.650	15.200	15.600	91.700	182.000
2	桑原 俊	徳洲会体操クラブ	15.250	14.250	14.500	15.550	15.850	14.950	90.300	180.400
3	水島 寿思	徳洲会体操クラブ	14.550	14.550	14.850	15.600	15.750	14.800	90.100	179.600
4	上田 和也	KONAMI	15.150	14.050	14.600	15.800	15.350	15.950	90.900	179.250
5	沖口 誠	日本体育大学	14.950	13.950	13.750	15.900	14.900	15.250	88.700	178.750
6	小林 研也	KONAMI	14.850	14.700	14.750	15.000	15.450	14.900	89.650	178.600
7	田中 和仁	日本大学	14.500	14.750	14.900	15.350	15.250	14.850	89.600	178.050
7	鹿島 丈博	セントラルスポーツ	16.000	14.050	14.650	16.750	14.500	14.500	90.450	178.050
17	芳村 裕生	KONAMI	16.100	13.750	14.550	16.550	13.400	13.950	88.300	174.800
30	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	14.800	14.100	15.100	16.400	14.350	13.800	88.550	172.200
33	山口 悠樹	サンフルトスポーツクラブ	14.750	13.850	15.200	16.400	15.400	14.450	90.050	169.800
42	飯嶋 颯	サンフルトスポーツクラブ	14.900	13.500	14.800	15.550	15.150	14.600	88.500	166.850
46	古賀 裕将	日本大学	14.850	13.800	15.000	15.500	15.200	15.200	89.550	164.200
			14.800	13.100	15.200	15.400	14.650	14.700	87.850	162.250
			13.200	14.350	15.050	15.350	14.850	14.150	86.950	162.250
			14.950	12.950	13.600	15.100	14.300	15.050	85.950	162.200
			15.000	14.300	12.900	15.900	13.400	14.750	86.250	162.200
			14.500	13.150	13.950	15.400	14.200	14.200	85.400	162.200
			14.550	13.100	13.350	15.400	13.900	14.100	84.400	162.200
			14.100	14.400	13.950	14.400	13.400	14.350	84.600	162.200
			14.050	12.900	12.900	14.550	13.700	14.150	82.250	162.200
			14.450	12.650	12.950	15.600	14.150	14.150	83.950	162.200
			13.950	11.750	13.150	13.700	13.800	13.900	80.250	162.200

女子

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	1日目/2日目	合計
1	上村 美揮	朝日生命体操クラブ	14.500	14.500	15.350	13.750	58.100	118.050
1	山岸 舞	戸田市スポーツセンター	14.700	15.300	15.500	14.450	59.950	118.050
1	鶴見 虹子	朝日生命体操クラブ	14.600	14.750	15.200	14.450	59.000	118.050
4	黒田 真由	中京大学	14.550	14.850	15.050	14.600	59.050	118.050
5	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	13.400	15.700	15.200	14.900	59.200	118.050
6	小沢 茂々子	戸田市スポーツセンター	13.900	15.350	14.600	15.000	58.850	118.050
7	椋本 啓子	大阪体育大学	13.300	15.650	14.350	14.250	57.550	115.500
8	美濃部 ゆう	朝日生命体操クラブ	13.050	15.650	14.750	14.500	57.950	115.500
			13.600	14.100	14.750	13.950	56.400	115.300
			14.400	14.950	14.750	14.800	58.900	115.300
			14.200	14.300	15.050	14.100	57.650	114.950
			14.400	14.450	14.100	14.350	57.300	114.950
			14.350	13.100	14.500	14.250	56.200	114.500
			14.700	14.350	14.950	14.300	58.300	114.500
			13.400	13.800	14.700	14.400	56.300	114.050
			13.450	14.800	14.850	14.650	57.750	114.050

2007 東日本学生選手権大会 青森・青森県弘前市民体育館 2007年5月19日～20日
男子団体総合

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	72.100	70.750	72.600	75.250	72.700	71.900	435.300
2	仙台大学	72.700	68.850	72.800	74.100	75.400	71.400	435.250
3	順天堂大学	73.900	69.450	69.450	75.600	75.750	70.300	434.450

男子個人総合

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	4	星 陽輔	順天堂大学	15.050	14.850	14.150	14.950	15.700	15.800	90.500
2	3	植松 鑑治	仙台大学	14.950	14.150	14.150	15.300	15.250	14.800	88.600
3	4	荒井 智	仙台大学	14.650	14.100	15.500	14.950	15.350	13.850	88.400
26	3	川野 貢太	日本大学	13.400	13.850	13.300	14.400	13.900	14.100	82.950
29	4	関 圭一郎	日本大学	14.000	14.500	5 13.450	13.800	14.050	12.750	82.550
31	2	山本 翔一	日本大学	12.950	13.450	12.700	15.050	14.550	13.650	82.350
37	2	後藤 俊介	日本大学	13.800	12.800	13.000	15.350	6 13.350	13.150	81.450
43	4	木島 宏史	日本大学	13.900	12.950	13.000	14.150	12.800	13.250	80.050
46	4	松本 憲秀	日本大学	13.700	11.200	13.800	15.000	12.100	14.100	79.900
49	2	荒井 健之助	日本大学	12.750	13.100	13.550	13.950	11.750	13.900	79.000

女子団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	64.800	68.600	64.900	65.350	263.650
2	筑波大学	64.600	63.100	65.900	65.500	259.100
3	東京女子体育大学	60.750	62.350	64.000	64.000	251.100
4	日本大学	60.650	56.500	60.750	60.300	238.200

女子個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	1	岡部 紗季子	明治大学	13.900	13.600	13.950	14.150	55.600
2	1	古川 晶子	順天堂大学	14.850	13.900	12.950	13.800	55.500
3	3	石坂 真奈美	国士舘大学	13.400	13.800	14.200	14.050	55.450
24	4	立石 絵里	日本大学	12.500	10.650	13.100	12.800	49.050
26	3	篠原 綾乃	日本大学	12.600	10.650	12.700	12.850	48.800
29	3	齋藤 あゆみ	日本大学	12.450	12.150	12.000	11.650	48.250
34	3	井上 春香	日本大学	12.000	11.650	11.850	11.600	47.100
60	3	青木 麻智子	日本大学	11.100	11.400	9.550	11.400	43.450
65	1	柏崎 千友紀	日本大学	11.100	10.550	11.100	9.950	42.700
77	1	松本 理沙	日本大学	11.500	10.400	8.950	9.750	40.600
82	3	半谷 有里	日本大学	10.150	8.350	11.250	9.450	39.200

2007 第46回NHK杯 兼第40回世界体操競技選手権大会日本代表決定競技会
兼第24回ユニバーシアード大会日本代表決定競技会 東京・代々木第一体育館 2007年6月9日～10日

男子

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	1日目/2日目	持ち点/合計	
1	桑原 俊	徳洲会体操クラブ	14.800	14.150	14.200	15.550	15.650	14.450	88.800	90.200	
			14.850	14.400	14.300	15.600	15.950	15.300	90.400	269.400	w
2	中瀬 卓也	徳洲会体操クラブ	15.300	13.350	14.900	15.950	15.000	14.400	88.900	91.000	
			14.850	12.850	15.250	16.050	14.850	15.300	89.150	269.050	w
3	星 陽輔	順天堂大学	14.800	14.500	14.200	15.650	15.150	15.500	89.800	88.700	
			14.700	14.700	14.450	15.600	15.200	15.550	90.200	268.700	w
4	鹿島 丈博	セントラルスポーツ	14.700	16.050	13.200	15.600	15.550	14.550	89.650	89.025	
			14.850	16.100	13.500	15.600	15.500	14.350	89.900	268.575	w
5	水島 寿思	徳洲会体操クラブ	14.050	13.350	14.400	15.950	15.100	15.150	88.000	89.800	
			15.200	14.200	14.350	15.700	15.250	15.500	90.200	268.000	u
6	田中 和仁	日本大学	14.900	14.000	14.350	15.400	15.150	15.100	88.900	89.025	
			14.950	14.350	14.600	15.300	15.250	15.450	89.900	267.825	u
7	沖口 誠	日本体育大学	15.600	13.750	14.650	16.400	14.600	14.100	89.100	89.375	
			15.000	13.900	14.750	16.500	14.600	14.250	89.000	267.475	w
8	上田 和也	KONAMI	14.200	14.600	14.700	15.350	15.250	14.350	88.450	89.625	
			14.550	14.600	14.350	15.300	15.350	14.850	89.000	267.075	u
10	坂本 功貴	順天堂大学	14.700	14.450	14.400	15.700	13.900	13.200	86.350	88.800	
			15.000	14.900	14.600	15.850	15.000	14.500	89.850	265.000	u
11	内村 航平	日本体育大学	15.950	13.150	14.250	16.050	14.600	14.400	88.400	87.475	
			16.000	14.000	14.300	16.050	13.900	14.600	88.850	264.725	u
20	芳村 裕生	KONAMI	14.400	14.100	14.700	15.750	14.600	14.100	87.650	87.400	
			12.900	13.850	14.900	15.000	14.400	13.600	84.650	84.650	
	富田 洋之	セントラルスポーツ	14.700	15.100	15.850	15.550	15.350	14.750	91.300	0.000	
			13.950	15.150	16.100	15.550	14.950	15.250	90.950	182.250	w

w: 世界体操競技選手権大会代表 u: ユニバーシアード大会代表

女子

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	1日目/2日目	持ち点/合計	
1	鶴見 虹子	朝日生命体操クラブ	13.650	15.400	13.400	14.700	57.150	59.025	
			13.900	15.650	15.350	14.900	59.800	175.975	w
2	山岸 舞	戸田市スポーツセンター	14.500	14.450	15.100	14.050	58.100	59.025	
			14.600	14.950	15.000	13.900	58.450	175.575	w
3	棕本 啓子	大阪体育大学	14.700	15.250	15.150	13.800	58.900	57.250	
			14.700	15.000	15.200	14.150	59.050	175.200	w
4	上村 美揮	朝日生命体操クラブ	13.550	15.200	14.000	14.350	57.100	59.025	
			13.700	15.200	15.600	14.050	58.550	174.675	w
5	小沢 茂々子	戸田市スポーツセンター	15.250	13.950	14.750	13.900	57.850	57.475	
			15.400	14.100	14.800	14.350	58.650	173.975	w
6	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	13.650	14.350	14.700	14.500	57.200	57.650	
			14.500	14.900	14.700	14.750	58.850	173.700	w
7	黒田 真由	中京大学	13.100	15.300	15.100	14.300	57.800	57.750	
			13.050	15.800	15.150	14.150	58.150	173.700	w
8	美濃部 ゆう	朝日生命体操クラブ	13.450	14.700	14.350	13.200	55.700	57.025	
			13.450	14.400	15.100	14.250	57.200	169.925	
9	石坂 真奈美	国士館大学	13.150	14.400	14.550	13.500	55.600	58.825	
			13.650	14.600	14.800	14.050	57.100	169.525	u
10	溝口 絵里加	日本体育大学	13.650	14.300	13.750	13.650	55.350	55.850	
			13.550	14.050	13.850	13.600	55.050	166.250	u
11	岡部 紗季子	明治大学	13.800	13.100	14.400	13.550	54.850	54.425	
			14.600	13.550	14.250	14.350	56.750	166.025	u
12	垣谷 真理子	日本体育大学	13.500	13.550	13.850	13.050	53.950	53.250	
			13.450	13.000	13.300	12.350	52.100	159.300	u

w: 世界体操競技選手権大会代表 u: ユニバーシアード大会代表

2007 ユニバーシアード大会 タイ・バンコク 2007年8月8日～18日

男子団体総合決勝

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本	45.150	41.500	46.100	47.800	46.650	46.500	273.700
2	CHN	43.000	40.250	45.500	46.550	45.800	44.100	265.200
3	UKR	44.650	41.550	47.000	47.250	42.050	40.650	263.150

男子種目別決勝(日大・桜樹関係者のみ)

種目	順位	選手名	得点
つり輪	5	田中 和仁	15.200
鉄棒	4	田中 和仁	15.500

2007 全日本学生選手権大会 福岡・北九州市総合体育館 2007年9月15日～17日

男子団体総合

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	75.650	70.900	72.350	78.950	73.600	72.400	443.850
2	順天堂大学	74.800	66.800	70.950	78.050	75.700	74.700	441.000
3	日本大学	72.450	67.150	70.350	75.100	72.950	73.850	431.850

男子団体総合・個人成績

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	4	田中 和仁	日本大学	15.050	14.600	14.600	15.500	15.750	15.500	91.000
2	1	内村 航平	日本体育大学	15.650	14.400	14.450	16.050	15.200	15.200	90.950
3	4	星 陽輔	順天堂大学	15.050	13.700	14.200	15.450	15.550	15.200	89.150
14	2	山本 翔一	日本大学	14.400	13.450	13.950	15.100	14.800	14.750	86.450
17	2	古賀 裕将	日本大学	14.950	13.350	14.350	15.400	13.650	14.550	86.250
30	3	沖中 一仁	日本大学	14.150	12.850	14.250	14.350	14.100	14.350	84.050
42	3	飯嶋 正志	日本大学	13.750	13.400	14.300	13.550	13.600	13.950	82.550
48	3	川野 貢太	日本大学	13.900	10.750	13.200	14.750	14.650	14.700	81.950
50	4	千葉 厚太	日本大学	14.350	12.950	13.550	14.500	12.950	13.500	81.800
75	4	渡邊 大輔	日本大学	12.500	13.000	12.350	14.750	12.500	14.550	79.650
79	2	後藤 俊介	日本大学	13.100	10.650	13.250	14.900	13.400	13.950	79.250
86	1	武内 裕樹	日本大学	13.250	11.850	13.300	14.200	13.050	12.900	78.550
--	4	関 圭一朗	日本大学	12.650	12.900	13.150	キケン	13.200	12.400	--

男子個人総合

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	1	内村 航平	日本体育大学	15.800	14.100	14.600	16.050	15.150	15.200	90.900
2	4	星 陽輔	順天堂大学	15.200	13.950	14.350	15.700	15.900	15.500	90.600
3	3	坂本 功貴	順天堂大学	14.850	14.700	14.500	15.350	15.650	14.850	89.900
8	4	田中 和仁	日本大学	13.650	13.000	14.750	6 15.350	15.700	2 15.450	2 87.900
16	2	山本 翔一	日本大学	14.600	13.750	13.350	15.250	14.600	14.750	86.300
25	2	古賀 裕将	日本大学	14.600	12.750	13.900	15.300	14.350	14.200	85.100
30	3	沖中 一仁	日本大学	13.650	12.750	13.650	14.350	13.950	14.350	82.700

女子1部団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	65.950	66.600	67.650	67.100	267.300
2	筑波大学	64.050	63.900	65.900	63.000	256.850
3	日本女子体育大学	64.700	61.100	66.450	60.950	253.200

女子1部団体総合・個人成績

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	4	棕本 啓子	大阪体育大学	14.950	15.250	15.300	14.400	59.900
2	4	山本 千絵美	日本女子体育大学	14.450	13.200	13.850	13.500	55.000
3	2	垣谷 真理子	日本体育大学	13.450	13.050	14.400	13.150	54.050

女子1部個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	平行棒
1	4	棕本 啓子	大阪体育大学	15.150	14.750	15.750	14.750	60.400
2	4	溝口 絵里加	日本体育大学	13.300	14.350	14.500	12.700	54.850
2	1	大久保 奈美	筑波大学	13.700	13.250	14.150	13.750	54.850

女子2部団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	中京大学	63.850	61.050	64.000	58.550	247.450
2	国士館大学	63.400	59.500	65.400	56.950	245.250
3	日本大学	61.750	57.750	62.000	55.100	236.600

女子2部団体総合・個人成績

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	3	石坂 真奈美	国士館大学	14.500	14.150	14.800	14.400	57.850
2	1	古川 晶子	順天堂大学	14.800	13.150	13.650	13.950	55.550
3	1	黒田 真由	中京大学	12.200	14.200	14.800	13.700	54.900
5	3	井上 春香	日本大学	13.000	11.900	13.750	11.800	50.450
8	3	篠原 綾乃	日本大学	12.600	11.800	13.900	12.000	50.300
13	3	齋藤 あゆみ	日本大学	12.900	12.100	13.100	11.000	49.100
33	3	青木 麻智子	日本大学	11.700	11.350	10.750	10.400	44.200
47	4	佐橋 春枝	日本大学	10.300	10.600	10.500	9.900	41.300
48	1	柏崎 千友紀	日本大学	11.550	10.550	10.150	8.800	41.050
49	4	広田 望	日本大学	11.200	8.950	10.950	9.100	40.200
61	1	森本 真帆	日本大学	10.950	6.850	10.500	8.100	36.400

女子2部個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1		石坂 真奈美	国士館大学	13.700	13.600	15.000	14.700	57.000
2		黒田 真由	中京大学	12.900	15.300	15.000	13.100	56.300
3		古川 晶子	順天堂大学	15.100	13.100	12.650	14.300	55.150
10	3	篠原 綾乃	日本大学	12.200	10.600	13.950	11.800	48.550
11	3	齋藤 あゆみ	日本大学	12.450	11.250	12.700	11.500	47.900
23	3	井上 春香	日本大学	12.450	10.950	4.300	12.000	39.700

2007 全日本社会人体操競技選手権大会 茨城・笠松運動公園体育館 2007年9月22日～24日

男子団体総合1部

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	KONAMI	72.050	71.050	73.550	77.150	75.750	73.700	443.25
2	徳洲会体操クラブ	74.150	66.700	72.800	77.950	76.150	74.200	441.95
3	日大桜樹クラブ	67.200	65.250	69.600	73.700	68.100	71.350	415.2

男子個人総合1部

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	富田 洋之	セントラルスポーツ	14.150	14.950	15.800	15.500	15.500	15.500	91.400
2	中瀬 卓也	徳洲会体操クラブ	15.150	12.200	15.300	15.900	15.100	15.450	89.100
3	桑原 俊	徳洲会体操クラブ	14.750	14.300	14.850	15.250	15.900	13.750	88.800
13	芳村 裕生	KONAMI	14.700	5 13.800	14.350	15.750	5 14.550	13.950	87.100
14	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	14.700	5 12.600	13.750	16.050	1 14.700	15.050	86.850
17	森 光大	日大桜樹クラブ	13.750	13.950	13.850	15.300	14.850	14.600	86.300
19	山口 悠樹	サンフルトスポーツクラブ	14.450	13.350	14.100	15.250	14.550	14.400	86.100
26	田崎 裕祐	日大桜樹クラブ	13.500	13.300	14.750	8 14.400	13.750	14.700	84.400
31	内田 友幸	日大桜樹クラブ	14.150	13.150	14.350	15.000	12.750	14.200	83.600
36	飯島 颯	サンフルトスポーツクラブ	14.000	14.150	13.900	14.650	11.750	13.850	82.300
38	守屋 貴夫	山梨ジュニア体操クラブ	14.350	12.850	13.300	14.500	13.450	13.750	82.200
39	小田原 玄弥	横浜YSMC体操クラブ	13.600	12.450	13.900	14.400	13.400	14.400	82.150
41	佐藤 佑介	日大桜樹クラブ	12.150	13.650	13.500	14.800	13.850	13.800	81.750
54	巻島 晃一郎	日大桜樹クラブ	13.300	11.200	13.150	14.200	10.950	14.050	76.850
56	西村 祥	日大桜樹クラブ	12.500	10.550	13.000	13.950	12.900	12.950	75.850

男子団体総合2部

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	九州連合	28.525	28.600	28.800	28.650	27.750	28.150	170.475
2	鹿屋クラブ	28.825	28.450	29.125	28.000	27.850	26.800	169.050
3	湘南とびうお体操クラブ	28.000	27.300	28.200	28.200	27.350	27.450	166.500
13	日大桜樹クラブ	27.750	26.500	28.400	26.500	27.000	25.950	162.100

男子個人総合2部

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	馬 景華	相原体操クラブ	9.900	9.850	9.750	9.200	9.700	9.650	58.050
2	鶴丸 裕之	九州連合	9.550	9.750	9.725	9.750	9.200	9.550	57.525
3	清水 満	紫鏡クラブ	9.600	9.600	9.675	9.300	9.600	9.500	57.275
10	川畑 龍雄	兵庫フェニックス	9.500	9.500	9.450	9.200	9.100	9.400	7 56.150
21	笹村 昌宏	日大桜樹クラブ	9.650	5 9.700	4 9.600	9.350	8.800	8.400	55.500
53	君嶋 孝之	日大桜樹クラブ	9.100	8.800	9.350	8.700	9.300	8.650	53.900
73	町田 知己	加茂体操クラブ	8.500	9.300	8.950	8.600	8.900	8.700	52.950
86	市角 仁	日大桜樹クラブ	9.000	8.000	9.450	8.450	8.900	8.900	52.700

2007 国民体育大会 秋田・秋田市立体育館 2007年10月4日

男子

順位	都道府県名	選手名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	岡山	速見,西峯,沖口,中島,田窪	46.950	43.900	42.250	46.600	44.650	42.550	266.900
2	秋田	飯嶋,上坂,山口,小田原,千葉	43.950	42.450	43.850	45.700	44.850	44.650	265.450
3	埼玉	前島,肘井,寺尾,山室,佐藤	44.400	42.550	42.900	44.600	43.550	43.050	261.050
8	大阪	森,青山,松浦,土井,高松	42.600	41.200	41.800	44.450	41.900	40.900	252.850
10	鹿児島	古賀,松本(圭),川野,関,伊地知	42.850	38.400	41.050	45.100	42.850	41.300	251.550
14	北海道	大倉,阿部,堀田,西村,加藤	40.800	35.750	39.750	45.050	38.250	36.850	236.450
15	愛媛	白石,森野,池田,日野,中村	40.650	37.500	36.100	43.300	38.000	38.050	233.600

女子

順位	都道府県名	選手名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	秋田	高堰,竹田,田中,川村,飯島	40.650	41.650	42.300	39.750	164.350
2	長崎	踊瀬,棕本,大久保,小川,速見	40.450	40.350	40.650	39.700	161.150
3	埼玉	高橋,関口,上松,石郷,双木	39.050	40.450	39.150	39.700	158.350
4	神奈川	小泉,前田,今吉,井上,篠原	39.650	38.300	41.550	38.500	158.000

2007 全日本体操競技選手権大会 東京・代々木第一体育館 2007年10月26日～28日

男子団体総合

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	徳洲会体操クラブ	74.450	69.750	71.450	78.100	74.150	76.350	444.250
2	日本体育大学	73.400	69.100	73.950	79.150	74.600	73.650	443.850
3	KONAMI	73.650	68.950	73.650	77.400	76.050	72.450	442.150
4	順天堂大学	73.900	66.950	71.150	78.450	75.750	72.900	439.100
5	日本大学	70.350	67.600	69.400	75.500	70.350	73.200	426.400
6	早稲田大学	69.600	65.050	68.450	74.300	69.550	68.900	415.850
7	筑波大学	72.100	64.150	68.150	74.200	65.600	67.150	411.350
8	仙台大学	70.000	64.000	66.800	75.550	68.300	65.200	409.850

男子個人総合予選

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	富田 洋之	セントラルスポーツ	14.750	14.550	15.900	15.900	15.700	14.550	91.350
2	沖口 誠	日本体育大学	16.150	13.850	14.600	16.600	14.600	14.450	90.250
3	田中 和仁	日本大学	14.300	14.450	14.200	15.500	15.700	15.550	89.700
19	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	15.150	13.000	13.900	15.700	14.550	15.150	87.450
35	古賀 裕将	日本大学	14.400	13.100	14.000	15.400	13.650	14.850	85.400
38	芳村 裕生	KONAMI	14.500	12.800	14.200	15.200	15.100	13.500	85.300
52	森 光大	日大櫻樹クラブ	13.750	12.000	13.500	15.250	14.650	14.800	83.950
58	田崎 裕祐	日大櫻樹クラブ	13.600	12.950	14.450	14.250	13.950	14.300	83.500
59	山本 翔一	日本大学	14.250	12.800	13.250	15.100	13.950	14.100	83.450
59	山口 悠樹	サンフルスポーツクラブ	13.800	13.100	13.800	15.350	13.900	13.500	83.450
65	沖中 一仁	日本大学	13.200	12.200	13.100	14.550	14.750	14.650	82.450

男子個人総合決勝

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	富田 洋之	セントラルスポーツ	15.000	14.600	16.000	15.350	15.750	15.650	92.350
2	田中 和仁	日本大学	14.950	14.200	14.550	15.450	15.800	15.350	90.300
3	星 陽輔	順天堂大学	15.000	14.650	14.000	15.600	15.600	15.300	90.150
14	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	14.950	13.450	13.550	16.100	14.350	15.100	87.500
26	芳村 裕生	KONAMI	13.850	13.200	14.750	15.500	14.800	13.650	85.750
33	古賀 裕将	日本大学	14.500	13.300	13.400	15.500	13.200	14.800	84.700

男子種目別(日大・桜樹関係者のみ)

種目	順位	選手名	所属	得点
ゆか	5	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	15.150
あん馬	6	田中 和仁	日本大学	14.450
平行棒	2	田中 和仁	日本大学	15.700
鉄棒	3	田中 和仁	日本大学	15.550
	7	西峯 賢二	徳洲会体操クラブ	15.150

女子1部団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	朝日生命体操クラブ	68.800	71.250	73.950	70.250	284.250
2	戸田市スポーツセンター	66.850	67.050	69.250	67.600	270.750
3	日本体育大学	66.350	67.050	68.200	66.300	267.900
4	レジックススポーツ	67.750	60.500	66.200	63.850	258.300
5	なんば体操クラブ	64.350	60.600	67.300	64.200	256.450
6	筑波大学	62.800	61.700	64.200	64.300	253.000
7	四天王寺スポーツクラブ	61.200	56.600	63.450	60.700	241.950
8	日本女子体育大学	64.150	59.700	59.100	57.400	240.350

女子個人総合予選

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	鶴見 虹子	朝日生命体操クラブ	13.800	15.650	14.950	14.950	59.350
2	大島 杏子	朝日生命体操クラブ	14.500	14.800	14.850	14.350	58.500
3	美濃部 ゆう	朝日生命体操クラブ	13.400	14.850	15.400	14.600	58.250

女子個人総合決勝

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	鶴見 虹子	朝日生命体操クラブ	13.800	15.600	15.200	14.900	59.500
2	椋本 啓子	大阪体育大学	14.850	14.850	14.600	13.850	58.150
3	上村 美揮	朝日生命体操クラブ	13.900	15.100	14.800	14.350	58.150

2007 関東学生交流大会 千葉・千葉商科大学 2007年11月10日～11日

男子個人総合

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	2	中島 立貴	日本体育大学	14.750	12.850	13.300	15.050	14.650	14.250	84.850
2	3	中條 幸輔	日本体育大学	13.500	12.100	14.000	15.000	13.950	13.000	81.550
3	2	荒井 健之介	日本大学	13.050 8	12.950 4	13.200 7	14.300	13.600 5	13.800 3	80.900
6	3	大倉 純貴	日本大学	13.250 6	12.050	12.750	14.400	13.400 6	13.900 2	79.750
9	2	三宅 正晃	日本大学	13.350 5	12.600 7	12.200	15.050 2	12.950	12.900	79.050
10	3	加藤 恭也	日本大学	12.500	11.400	13.250 6	14.450 8	13.100 7	13.350 6	78.050

女子個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	2	野口 佳奈	早稲田大学	13.300	12.150	13.900	12.750	52.100
2	3	篠原 綾乃	日本大学	12.700 3	12.300 4	13.500 3	13.100 1	51.600
3	3	齋藤 あゆみ	日本大学	12.250 6	13.050 1	13.100 4	12.700 5	51.100
9	3	青木 麻智子	日本大学	11.800	11.800 7	11.300	11.950	46.850
18	3	半谷 有里	日本大学	10.050	9.950	11.200	10.400	41.600

2007 関東学生新人大会 千葉・千葉商科大学 2007年11月10日～11日

男子団体総合

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	59.600	56.250	57.850	62.900	57.000	56.550	350.150
2	早稲田大学	54.150	50.200	53.350	58.200	52.250	54.150	322.300
3	日本大学	53.200	51.950	52.550	57.700	51.550	52.750	319.700

男子個人総合

順位	学年	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	1	内村 航平	日本体育大学	15.750	13.800	14.500	16.100	14.950	14.800	89.900
2	1	山室 光史	日本体育大学	14.550	14.400	15.250	16.050	14.300	13.950	88.500
3	1	稲寺 拓也	日本体育大学	14.550	13.900	14.400	15.800	13.950	12.850	85.450
10	1	武内 祐樹	日本大学	13.750	13.450 7	13.600	14.550	12.850	13.450	81.650
16	1	田中 宏樹	日本大学	13.300	12.500	12.450	14.100	13.250	13.550 8	79.150
17	1	坂下 敏博	日本大学	13.300	12.400	13.000	14.450	13.050	12.450	78.650
20	1	小高 匡史	日本大学	12.850	12.800	12.600	14.500	12.400	12.550	77.700
23	1	日野 祐樹	日本大学	12.150	13.200	12.050	14.200	12.000	13.200	76.800
27	2	川村 洋樹	日本大学	13.100	11.650	11.850	13.650	12.500	12.750	75.500
45	3	金田 一道	日本大学	12.600	8.400	13.350	13.950	11.600	12.150	72.050
49	2	川田 貴之	日本大学	12.600	9.350	12.450	12.900	12.450	11.200	70.950

女子団体総合

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	39.050	41.050	39.550	39.900	159.550
2	東京女子体育大学	35.550	35.300	37.750	35.500	144.100
3	東海大学	36.500	33.750	32.950	35.650	138.850

女子個人総合

順位	学年	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	1	岡部 紗季子	明治大学	14.150	12.350	13.700	14.350	54.550
2	1	古川 晶子	順天堂大学	13.950	13.750	13.300	13.550	54.550
3	1	竹屋 佳奈	日本体育大学	13.600	13.850	13.050	13.850	54.350

2007 北京国際招待(北京プレオリンピック) 中国・北京 2007年11月28日～12月3日
男子団体総合決勝

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	China	44.700	44.775	47.950	47.725	47.350	43.425	275.925
2	日本	45.550	42.400	45.200	47.675	46.500	45.550	272.875
3	Korea	46.775	43.075	44.675	47.600	46.250	42.925	271.300

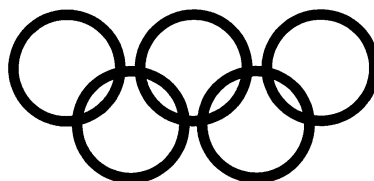
男子種目別決勝(日大・桜樹関係者のみ)

種目	順位	選手名	得点
鉄棒	3	田中 和仁	15.150

2008 カタール国際 カタール・ドーハ 2007年3月4日～6日

男子種目別決勝(日大・桜樹関係者のみ)

種目	順位	選手名	得点
平行棒	4	田中 和仁	15.925
鉄棒	4	田中 和仁	15.250



平成 19 年度 日本大学桜樹会 第 1 回役員会議事

平成 19 年 7 月 21 日 (土) 日大会館 204

出席：菊地君男 (4)、吉川晃 (2)、木村多喜 (4)、早田卓次 (4)、高田信興 (4)、小俣里知子 (4)、鶴見興人 (6)、小栗郁郎 (5)、海谷美代子 (7)、安藤泰行 (10)、原弘吉 (11)、谷田部光則 (15)、遠藤幸一 (25)、葛西玲広 (43)、佐藤佑介 (44)

I 報告事項

1. 役員委嘱について (下線：新任)

会長：菊地君男 (4)、副会長：高田信興 (4)、小俣里知子 (4)、鶴見興人 (6)
会計監査：岡本公子 (7)、原弘吉 (11)、総務：遠藤幸一 (25)、葛西玲広 (43)
幹事：吉川晃 (2)、木村多喜 (4)、早田卓次 (4)、小栗郁郎 (5)、海谷美代子 (7)、安藤泰行 (10)、外山宜男 (14)、谷田部光則 (15)、梶山広司 (17)、渡辺嘉三 (20)、平田倫敏 (21)、水島宏一 (29)、長澤郁子 (31)、西川大輔 (34)、佐藤佑介 (44)、日向小百合 (44)、内田友幸 (48) (解任：小松武雄)

名誉会長：石井征也 (1)

ブロック幹事：【北海道】山内悟 (8)、吉田義経 (37) 【東北】佐藤勲 (7)、宇野正信 (11) 【北信越】船木政明 (8)、五十嵐久人 (14)、三富洋昭 (33) 【東海】後藤史朗 (15) 【近畿】川畑龍雄 (26)、岸本拓也 (40) 【中国】中谷秀明 (13)、小野田博之 (25) 【四国】橋本博之 (33) 【九州・沖縄】磯部忠通 (5)、錦井利臣 (16)、松本俊一 (19) (解任：中島元、小柴守夫、住広晃、慶田盛定)

- ・ 震災、台風の影響により被害はないのか？ (特に連絡はない)
- ・ ブロック幹事になることで負担は出ないのか？ (現状では役員会からブロック幹事にイベント依頼などをしたことはない。ブロックが主体になって進める方向でいく。)

2. 東日本インカレ (男子 6 位、女子 5 位)

3. 2 次予選・NHK 杯 (4 年田中和仁⇒ユニバーシアード代表)

4. 遠藤顧問より寄付金 (245,903)

5. 会報 (8 月中旬発刊予定)、名簿作成進捗状況

6. 東日本インカレ応援 (菊地、鶴見)

II 審議事項

1. 卒業期代表者について・・・人選について承認

役割：記念行事(3/15)への同期参加者の呼びかけ

2. 体操部創部 50 周年記念行事実行委員会

今回は、期日の設定などで梶山監督はじめ長澤、西川両コーチも参加できなかったことから、また、出席者が決まっていないことから、会長の意向を話し、意見交

換するに留める。これらは次回打合せ時に再度検討する。

<内容>

1. 日時 平成 20 年 3 月 15 日 (土)
2. 場所 日本大学会館 大講堂
3. 会費 ①会費額 10,000 円 ②徴収方法：郵便振替 (郵便振替一本でいく)
4. 記念式典

①感謝状

(ア)歴代部長・監督 濱田靖一 門脇春男 遠藤幸雄

(イ)オリンピック・世界選手権・ユニバーシアード出場者

(ウ)桜樹会関係者 (勢能顧問、門脇和顧問、石井名誉会長にしてはどうか。他界された方については感謝状を贈らない)

②記念品 (桜樹会から部へ)・・・金一封

③招待者

(ア) 大学関係 (早田部長、梶山監督の間で調整依頼)

・総長 副総長 (保体審担当)、常務理事、保体審局長、保体審事務局員

・保体審他部部長、監督

・文理学部関係

(イ)体操協会関係

・日本体操協会会長 副会長

(ウ)桜樹会顧問

④式次第

(ア)開式の辞

(イ)式辞

(ウ)来賓祝辞 日本大学総長、保体審局長、日本体操協会会長

(エ)感謝状贈呈

(オ)記念品贈呈

(カ)閉式の辞

⑤開式の辞 (会長)・式辞 (部長)・閉式の辞 (鶴見副会長)

⑥司会者の選定 (小栗)

⑦感謝状・・・贈呈者の選定 (監督・副部長・会長)

⑧記念品・・・贈呈者の選定 (小俣副会長)

⑨感謝状贈呈方法の検討

5. 記念祝賀会

①式次第

(ア)開会の辞

(イ)鏡開き

日本大学総長 副総長 常務理事 保体審局長
日本体操協会会長
保体審他部部長代表 監督代表
桜樹会顧問代表 桜樹会会長
体操部部長 監督

(ウ)乾杯

(エ)懇談

(オ)部員紹介

(カ)余興

(キ)校歌斉唱

(ク)閉会の辞

②開会の辞（高田副会長）・乾杯（名誉会長）・閉会の辞（遠藤実行委員）

③司会者の選定（小栗）

④余興の検討（和太鼓）

6. 記念行事にかかわる作業等内容

①寄付募金（体操部への記念品代）の徴収

（寄付（記念品代）の受付を早め実施するのであれば、寄付のみを別扱いにするほうがいい。現時点で3月の出席や会費を徴収するのは困難。別扱いにして集まった寄付金を全額体操部に贈るとするのは主旨が違う気がする。収支予算としては、収入を参加会費、寄付、特別積立金とし、50周年記念事業に対して行うほうが趣旨に合う。そうすると、寄付を募るなどは年末か年始に案内状とともに行う方法が妥当）

②写真集（CD-R）の作成・・・当日スライドショー用として

③ビデオの作成・・・当日上映用として

④体操部略年譜の作成・・・式次第パンフに掲載

⑤総長の予定確認

⑥案内状・招待状の作成・発送

⑦式次第パンフ・感謝状の作成

⑧参加者名簿・名札の作成

⑨受付・クローク・接待 各係りの編成

⑩記念品（出席者へ配付）の検討

7. 各種通知等の送付

①19年2～3月、50周年記念行事開催の趣意書を会員あて送付：総会通知に同封

②3ヶ月前までに案内状の送付

③1ヶ月前までに招待状送付

平成 19 年度 日本大学桜樹会 第 2 回役員会議事

平成 20 年 3 月 22 日 (土) 15:00~18:00

日大理工学部駿河台校舎

出席 菊地君男 (4)、木村多喜 (4)、小栗郁郎 (5)、岡本公子 (7)、海谷美代子 (7)、
安藤泰行 (10)、遠藤幸一 (25)、長澤郁子 (31)

会計監査作業

I 報告事項

1. 今後の行事について

- ・ 総会 平成 20 年 3 月 29 日 (土) 15:00~ 日本大学会館 601B
- ・ 懇親会 同日 総会終了後

2. その他

- ・ ブロック幹事 (東北) 宇野正信氏 (平成 20 年 3 月 17 日逝去)

II 審議事項

1. 総会議事について

■資料の確認

■平成 19 年度収支決算報告

■平成 19 年度事業報告

■平成 20 年度事業予定について

⇒オリンピック代表に日大・桜樹関係者が選ばれた場合、壮行会を企画する。

■平成 20 年度収支予算案

2. 体操部創部 50 周年記念式典・祝賀会報告と確認事項

出席会員 266 名。参加者が予想以上に多く盛況だったし、経費的にも何とかプラスになりそう (現在精算中)。感謝状対象者に盾を贈呈。筒と一緒に発送。寄付金のみ協力いただいた会員全員に記念品を送付。礼状とともに原稿依頼を出席者に依頼する。集まった寄付金は全額体操部へ渡し、体操部に代わって実施する案内発送、礼状発送など関連諸経費を負担してもらう。

3. 新入会員の認定について

平成 20 年 3 月卒: 男子 8 名、女子 3 名

中川和昭-14 期 (229-1135 神奈川県相模原市大島 3331-7 (株)パル)

※卒業生の新入会員手続きに関しては総務主導で実施してほしい。

平成19年度 日本大学桜樹会総会議事

期日) 平成20年3月29日 (土) 15:00～

場所) 日本大学会館601B

出席) 石井征也、堀田淳二、吉川晃、菊地君男、小松武雄、鶴見興人、岡本公子、海谷美代子、相原和明、外山宜男、遠藤幸一、葛西玲広、佐藤佑介

以上13名

<返信290通 (現住所不明1通) ; 通知689通 (3/26現在返信率42.2%) >

I 挨拶…会長 菊地君男

II 議長・書記選出…議長 ; 吉川晃 書記 ; 佐藤佑介

III 報告事項

1. 事業および行事報告…日本大学桜樹会・体操部関係 ; 事務局 (資料1, 2参照)

※競技会成績、懇親会報告等の詳細については会報第42号に記載予定。

2. 会員動向…事務局

—会員逝去について

岩田惇-8期 (平成20年2月18日逝去)

宇野正信-11期 (平成20年3月17日逝去)

中森勉-17期 (平成20年1月20日逝去)

—新入会員について

平成20年3月卒 : 男子8名、女子3名

中川和昭-14期 (229-1135 神奈川県相模原市大島3331-7 (株)パル)

3. その他

—体操部創部50周年記念行事について (実行委員長 : 菊地)

- ・ 50周年記念行事には、会員266名、来賓41名、部員48名 (計355名) が参加した。最終的な出席予定者が総計で370名程度あり、会場の収容能力が心配されたが、無事終えることができた。
- ・ 3月29日現在、すでに来賓の方へ礼状を送付した。出席者及び寄付をいただいた方に対しても近日中に送付する。また、送付するための記念品が不足しているため追加注文している。
- ・ 現在、総務が決算処理を行っている。支出超過が心配されたが、黒字で終えることができた。

IV 審議事項

1. 平成19年度収支決算報告…事務局 (資料3参照)

- ・ 今年度は昨年度よりも繰越金がおおよそ50万円増加した。それは、会費収入の

増加によるものである。

- ・ 雑収入は、遠藤先生慰労会及び50周年の関係で決算額が大きく増加している。
- ・ 事業費決算額の増加は、通信費で処理すべきもの（名簿発行）を事業費で処理したためであることを了承していただきたい。

2. 会計監査報告…岡本公子「収支決算書の内容に間違いのないことを確認した」

3. 平成19年度収支決算の認否…承認

4. 平成20年度事業および行事計画…事務局（資料4参照）

- ・ 今年度は北京オリンピックがある。前回大会において日本は金メダルを獲得することができたが、日本大学ならびに桜樹会の代表選手はいなかった。今オリンピックには、代表入りが期待される選手がいるため、よりいっそうの応援を願いたい。
- ・ 日本大学ならびに桜樹会関係の選手が北京オリンピックの代表になった場合、壮行会等のイベントを行いたい。

5. 平成20年度事業および行事計画の認否…承認

6. 平成20年度予算案…事務局（資料5参照）

- ・ 昨年度との大きな変更点はない。
- ・ 今年度会費収入増であったが、来年度の見通しは如何なものか。

⇒ 同程度であろう。会費を納入した会員は全体の3割程度である。今回の会費収入の増加は、50周年記念行事等に伴い複数年度分をまとめて納入した会員が多数いたことによると考えられる。したがって今後、どのようにして会費を納入する会員を増やすかが課題である。

7. 平成20年度予算案の認否…承認

8. その他

- ・ 今後のことを考え、事業等を行うことで会費を集める必要はないか。

⇒ 今回は50周年記念行事を成功させることに集中した。今後、そういうことを議論していきたい。

- ・ 事業企画部等を置いてはどうだろうか。

⇒ 会則の変更も必要となるので、そのようなことも含めて今後の検討課題としたい。

⇒ また、それら（事業企画部等）を行うためには、専門員（日本体操協会事務局のような）をおく必要が出てくるかもしれない。

⇒ ブロックごとに事務局をおくという考えもあるが、ブロックごとに処理能力の差などが生じる恐れもある。

⇒ しかしながら、今後も会員数は増加するので、それに比例して総務への負担も増加していくと考えられる。したがって、下位組織を置く意味は大きいだろう。

⇒ これらの具体案を会長および事務局で作成し、その後検討していくことが課題となる。

- * 最後に菊地会長より、50周年記念行事の成功に対して感謝の意が述べられた。
 - 今回の成功の一因として、本部に葛西総務（43期）が勤めていることが挙げられる。それにより、本部施設を円滑に使用することができた。大変感謝している。
- 一方で、クロークを担当した部員がほとんどパーティーに参加できなかったことなど反省すべき点もあった。

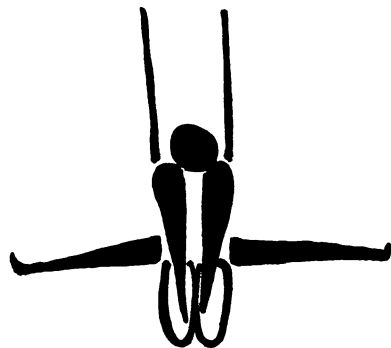
以上

<総会終了後、会員懇親会開催>

場所 「土風炉 市ヶ谷店」17時～

総会后、50周年記念行事の慰労も兼ね懇親会が行われた。やはり話題の中心は50周年記念行事についてであった。居酒屋の一室にて和気藹々とした雰囲気の中、2時間程度の会はあっという間に終わってしまったが、貴重な話をするこもでき、皆とても楽しんでいるようであった。

佐藤佑介



資料1

平成19年度 事業および行事報告

月	日	事業および行事内容	場 所
4	21 28～29	遠藤幸雄先生退職慰労会 世界選手権2次予選ほか	センチュリーハイアット 千葉ポートアリーナ
5	18～20	東日本インカレ	弘前市民体育館
6	9～10	世界選手権最終予選・NHK杯	千葉ポートアリーナ
7	29～31 21	インターハイ 第1回役員会・50周年記念実行委員会	佐賀県総合体育館 日本大学会館
8	9～12 31	ユニバーシアード 会報41号・名簿2007発行・発送	タイ・バンコク
9	1～9 15～17 22～24	世界選手権 全日本インカレ 全日本社会人大会	ドイツ・シュツットガルト 北九州市総合体育館 笠松運動公園体育館
10	2～5 13 26～28	国体 50周年記念実行委員会 全日本選手権	秋田市立体育館 日本大学理工学部 代々木第一体育館
12	8～9	豊田国際体操競技大会	豊田市総合体育館
1	19	新年会（有志）	新宿；栄寿司二号店
2	16	50周年記念実行委員会	日本大学理工学部
3	15 22 29	体操部創部50周年記念式典・祝賀会 第2回役員会（会計監査作業） 平成19年度総会・懇親会	日本大学会館 日本大学理工学部 日本大学会館

資料2

平成19年度 日本大学体操部・桜樹クラブ競技会報告

- 1) 東日本インカレ (弘前市民体育館)
男子団体 6 位、女子団体 5 位
- 2) 世界選手権 2 次予選 (千葉)
田中和仁 (4 年) 7 位、芳村裕生 (45 回卒) 17 位⇒以上、最終選考へ
西峯賢二 (48 回卒) 30 位、山口悠樹 (47 回卒) 33 位、飯嶋颯 (47 回卒) 42 位、
古賀裕将 (2 年) 46 位⇒以上、予選落ち
- 3) NHK 杯 (千葉)
田中和仁 (4 年) 6 位⇒ユニバーシアード代表、芳村裕生 (45 回卒) 20 位
- 4) 第24回ユニバーシアード (タイ・バンコク)
男子団体 1 位、田中和仁 (4 年) つり輪 5 位、鉄棒 4 位
- 5) 全日本インカレ (北九州市総合体育館)
男子団体 3 位、女子団体 2 部 3 位
- 6) 全日本社会人 (茨城)
男子団体 1 部 3 位、男子団体 2 部 13 位
- 7) 全日本選手権 (代々木第一)
男子学生 : 団体 5 位
男子個人総合 : 田中和仁 (4 年) 2 位
桜樹ク : 森光大 (46 回卒) 52 位、田崎裕祐 (45 回卒) 58 位
- 8) 関東新人・交流 (神奈川)
新人 : 男子団体 3 位 交流 : 男女個人出場

※詳細は会報42号に掲載

体操部関連行事

- 1) 保健体育審議会入会式
- 2) 新入生歓迎会
- 3) 春期合宿 (高崎)

その他 <http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~kajiyama/>

資料3

2007年度日本大学桜樹会収支決算書

2007年4月1日～2008年3月31日

(収支決算書)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
収入総額	2,154,000	6,596,851	4,442,851
支出総額	2,154,000	5,114,586	2,960,586
差引(次年度繰越金)		1,482,265	

(収入明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
前年度繰越金	953,178	953,178	0	
会 費	1,200,000	1,894,000	694,000	229名分
寄 付	0	249,903	249,903	遠藤顧問、斉藤敬一(13期)より寄付
雑収入	822	3,499,770	3,498,948	利息(普通)、懇親会残金、慰労会関連395,000、50周年記念行事関連3,079,000
合 計	2,154,000	6,596,851	4,442,851	

(支出明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事業費	700,000	983,561	▲283,561	会報第41号発行176,000、名簿発行198,600、会報等発送107,500、消費税24,105、競技会参加補助400,000
補助費	340,000	340,000	0	体操部補助300,000、桜門会登録補助40,000
会議費	40,000	8,661	31,339	コピー・飲物代(役員会)
通信費	200,000	13,360	186,640	総会等案内発送
事務費	30,000	15,184	14,816	印刷用具購入他
雑 費	35,000	49,070	▲14,070	口座手数料他
予備費	809,000	3,704,750	▲2,895,750	慰労会395,000・記念行事支出3,079,000・会員弔事30,750記念行事補助200,000
合 計	2,154,000	5,114,586	▲2,960,586	

(特別積立金)

記念事業費	500,000
-------	---------

⇒記念事業費支出(500,000)

会計監査 岡本公子 (平成20年3月22日)

資料4

平成20年度 事業および行事計画

月	日	事業および行事内容	場 所
4	12～13	オリンピック 2次予選ほか	代々木第一体育館
5	5～6 16～18	オリンピック最終予選・NHK杯 東日本インカレ 第1回役員会	岡山 栃木県体育館 未定
7	下旬	会報42号発行・発送	
8	6～8 9～19 12～17 31～9/2	インターハイ 第29回オリンピック 全日本ジュニア 全日本インカレ	埼玉・くまがやドーム 中国・北京 横浜文化体育館 埼玉・くまがやドーム
9	13～15 未定 29～10/1	全日本社会人大会 第2回役員会 国体	鯖江市総合体育館 未定 別府市総合体育館
10	未定 31～11/2	関東学生新人・交流 全日本選手権	未定 リージョンプラザ上越
11	15～16	豊田国際体操競技大会	豊田市総合体育館
1	17	新年会（有志）	新宿；栄寿司二号店
3	未定 未定 29	第3回役員会（会計監査作業） 平成20年度総会・懇親会 高校選抜	未定 未定 岡山・桃太郎アリーナ

資料5

2008年度日本大学桜樹会予算案

2008年4月1日～2009年3月31日

(収支予算書)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額
収入総額	2,690,000	2,154,000	536,000
支出総額	2,690,000	2,154,000	536,000
差引(次年度繰越金)	0	0	

(収入明細)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額	備 考
前年度繰越金	1,482,265	953,178	529,087	
会 費	1,200,000	1,200,000	0	
寄 付	0	0	0	
雑収入	7,735	822	6,913	
合 計	2,690,000	2,154,000	536,000	

(支出明細)

項 目	予 算 額	前年予算額	予算差額	備 考
事業費	550,000	700,000	▲ 150,000	会報第42号発行150,000競技会参加補助400,000
補助費	340,000	340,000	0	体操部補助300,000、桜門会登録補助40,000
会議費	40,000	40,000	0	会議室使用料
通信費	200,000	200,000	0	会報他郵送料
事務費	30,000	30,000	0	原稿用紙、印刷用具購入他
雑 費	35,000	35,000	0	口座手数料
予備費	1,495,000	809,000	686,000	
合 計	2,690,000	2,154,000	536,000	

平成 19 年度 会費納入状況報告

会費納入者 ; 229 名 総額 ; 1,894,000 円

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
1	4	1	西峯 賢二	2,000	36	5	8	久保田一行	8,000
2	4	1	守屋 貴夫	2,000	37	5	11	大塚 政子	4,000
3	4	1	池田 賢明	2,000	38	5	16	橋本 博之	12,000
4	4	1	内田 友幸	2,000	39	6	6	町田 知己	4,000
5	4	1	新藤 正晃	2,000	40	6	30	玉内 幸子	16,000
6	4	1	福島 良次	2,000	41	7	18	平田 芳和	6,000
7	4	1	平川 雄貴	2,000	42	7	21	小俣里知子	18,000
8	4	1	市角 仁	2,000	43	7	21	菊地 君男	18,000
9	4	1	後藤 沙織	2,000	44	8	23	仲西 盛光	30,000
10	4	1	新井 麻衣	2,000	45	9	14	金子 洋平	6,000
11	4	1	田中 清子	12,000	46	9	18	田野 哲	6,000
12	4	1	五十嵐久人	12,000	47	9	18	朝倉 徳雄	6,000
13	4	1	山本 一晴	12,000	48	9	18	安藤 泰行	6,000
14	4	1	門脇 年宏	2,000	49	9	18	鈴木 康夫	6,000
15	4	1	木村 邦博	12,000	50	9	18	宇野 正信	6,000
16	4	1	竹村 里香	8,000	51	9	18	工藤 昌二	6,000
17	4	1	秦 剛一	8,000	52	9	18	山本 好隆	6,000
18	4	1	堀田 淳二	6,000	53	9	18	山崎 雅昭	12,000
19	4	1	久保 光正	6,000	54	9	18	境 保則	6,000
20	4	1	外山 宜男	12,000	55	9	18	矢木 幹男	6,000
21	4	1	塚田 和茂	6,000	56	9	19	山内 悟	6,000
22	4	2	近藤 盛一	18,000	57	9	19	松本 恭子	6,000
23	4	2	青木 文次	6,000	58	9	19	西澤眞里子	6,000
24	4	2	佐々木敏子	6,000	59	9	20	岡本 公子	6,000
25	4	4	志賀 正昌	6,000	60	9	20	伊藤 勇	6,000
26	4	4	菅野 秀俊	12,000	61	9	20	高波 司雄	6,000
27	4	9	船木 政明	6,000	62	9	20	山下 敦	6,000
28	4	9	渡辺美弥子	6,000	63	9	20	櫛野智恵美	6,000
29	4	10	巻島 久	6,000	64	9	21	門脇 隆	6,000
30	4	13	後藤こずえ	18,000	65	9	21	中谷 秀明	6,000
31	4	13	吉田 義経	3,000	66	9	21	松本 俊一	6,000
32	4	18	平野 昌宏	18,000	67	9	21	平田 倫敏	6,000
33	4	21	小林小百合	10,000	68	9	25	小笠原光子	6,000
34	4	26	金子 正史	6,000	69	9	25	櫛谷 宗敬	6,000
35	4	27	岩澤 稔	6,000	70	9	25	原 弘吉	6,000

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
71	9	25	梶山 広司	6,000	109	11	1	国井 信行	6,000
72	9	26	藤田 純一	10,000	110	11	5	竹中 剛	4,000
73	9	26	佐藤 久恵	6,000	111	11	5	斉藤 寛	2,000
74	9	26	寺元 良人	6,000	112	11	5	後藤 沙織	2,000
75	9	26	池崎万里子	10,000	113	11	6	斉藤 敬一	6,000
76	9	27	樫 一幸	6,000	114	11	7	西 繁美	6,000
77	9	27	高橋 千春	6,000	115	11	7	清水 昭幸	2,000
78	9	28	今村 悟	12,000	116	11	8	松下 悦子	6,000
79	9	28	中村 幸子	6,000	117	11	8	斉藤 美幸	2,000
80	9	28	志村 久子	6,000	118	11	16	青木 昭文	6,000
81	9	28	栗原 博人	6,000	119	11	19	小貫 孝春	6,000
82	10	2	松山 禎一	6,000	120	11	22	金野 東	8,000
83	10	3	鶴見 興人	6,000	121	11	26	山脇 恭二	6,000
84	10	5	諸岡 嘉春	20,000	122	11	30	錦井 利臣	6,000
85	10	5	近藤 明	6,000	123	11	30	錦井 浩樹	2,000
86	10	5	久保田一行	6,000	124	11	30	錦井 智子	2,000
87	10	10	中根 均	12,000	125	12	3	三富 洋昭	4,000
88	10	10	西峯 賢二	2,000	126	12	4	飯嶋 顕	2,000
89	10	11	小野田博之	6,000	127	12	5	真島 孝礼	6,000
90	10	12	桜井 一男	6,000	128	12	5	後藤 靖治	16,000
91	10	12	富高 千恵	4,000	129	12	11	坂田 安世	6,000
92	10	15	小坂井一弘	6,000	130	12	14	佐藤 勲	6,000
93	10	15	小内 格子	6,000	131	12	14	町田 知己	4,000
94	10	16	宮崎真由美	4,000	132	12	25	舟山 忠広	6,000
95	10	16	山口 悠樹	2,000	133	12	25	田澤 千晶	4,000
96	10	17	西川 大輔	4,000	134	081	7	林 昌幸	12,000
97	10	18	森 光大	2,000	135	1	7	大塚 孝幸	4,000
98	10	19	高見 等	12,000	136	1	7	門脇 年宏	2,000
99	10	19	小林 正明	3,000	137	1	8	村田麻衣子	2,000
100	10	22	保坂 弘一	6,000	138	1	9	中山 孝之	4,000
101	10	22	藤原 和子	6,000	139	1	15	安里 順一	4,000
102	10	25	川畑 龍雄	6,000	140	1	15	佐藤 佑介	4,000
103	10	26	相原 和明	6,000	141	1	16	室屋 武子	6,000
104	10	26	水島 宏一	8,000	142	1	16	宮川 直人	12,000
105	10	29	水島 克己	6,000	143	1	17	大塚 文夫	6,000
106	10	29	平井 良幸	4,000	144	1	18	春山 文子	6,000
107	10	29	太田 崇	2,000	145	1	18	阿部 稔	6,000
108	10	31	山田 秀二	6,000	146	1	18	小坂井一弘	6,000

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
147	1	21	金子 洋平	6,000	185	2	12	矢嶋 利康	6,000
148	1	21	青木 昭文	6,000	186	2	12	助信 昌俊	4,000
149	1	21	小内 格子	6,000	187	2	12	芳村 裕生	2,000
150	1	21	吉川 秀之	5,000	188	2	13	堀田 淳二	6,000
151	1	22	堀田 敏明	30,000	189	2	13	望月 敏正	6,000
152	1	22	小野 昌男	10,000	190	2	13	橋本 博之	8,000
153	1	22	小野田博之	6,000	191	2	14	櫛谷 宗敬	6,000
154	1	23	藤原 和子	6,000	192	2	14	岡本みどり	6,000
155	1	24	塚田 和茂	12,000	193	2	14	桜井 一男	6,000
156	1	25	長澤 郁子	8,000	194	2	15	東條 恭子	6,000
157	1	25	西川 大輔	4,000	195	2	15	君嶋 孝之	4,000
158	1	28	砂野 泰男	10,000	196	2	15	市角 仁	2,000
159	1	28	畠山 繁博	6,000	197	2	18	大塚 宏	6,000
160	1	28	井本 吉彦	4,000	198	2	19	村上 吉正	6,000
161	1	29	中村 幸子	6,000	199	2	20	佐古 直美	16,000
162	1	29	平田 倫敏	6,000	200	2	29	八木 宏克	8,000
163	1	29	森元 潤一	6,000	201	3	1	遠藤 幸一	18,000
164	1	30	小柴 守夫	6,000	202	3	4	飯島 好美	24,000
165	1	30	井上 靖	60,000	203	3	4	木村 邦博	6,000
166	1	30	谷田部光則	6,000	204	3	4	佐藤 久恵	6,000
167	1	30	志村 久子	6,000	205	3	4	椎名 厚	6,000
168	2	2	斉藤 敬一	6,000	206	3	5	志賀 正昌	6,000
169	2	4	二岡真美子	18,000	207	3	5	平野 昌宏	30,000
170	2	4	松田 洋	6,000	208	3	5	吉田 秀登	2,000
171	2	5	松本 恭子	6,000	209	3	6	佐藤 徹	30,000
172	2	6	小玉 幸子	18,000	210	3	7	天童 毅	6,000
173	2	6	足立 鈴子	12,000	211	3	10	千野 良一	6,000
174	2	7	和田 勝	6,000	212	3	11	寛山 秀成	12,000
175	2	7	中根 均	12,000	213	3	15	竹内 勇	6,000
176	2	7	豊田麻規子	4,000	214	3	15	三木和一郎	6,000
177	2	7	清水 智子	8,000	215	3	15	高橋 千春	6,000
178	2	8	山内 悟	6,000	216	3	15	遠藤 慶	8,000
179	2	8	山本 好隆	6,000	217	3	15	三川 敦司	8,000
180	2	8	島崎 康行	8,000	218	3	15	林 弘策	2,000
181	2	8	田中 章二	6,000	219	3	15	相原 和明	6,000
182	2	8	松山 禎一	6,000	220	3	15	常井 晴道	60,000
183	2	12	高橋 房雄	6,000	221	3	15	松谷 育英	6,000
184	2	12	川口 亨	161,000	222	3	15	遠藤 孝之	6,000

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
223	3	15	佐々木藤雄	6,000	227	3	15	宮原久美子	6,000
224	3	15	梅田陽子	8,000	228	3	15	船木政明	6,000
225	3	15	川崎聖子	4,000	229	3	15	河原史	20,000
226	3	15	小笠原祥子	6,000					

※ご協力ありがとうございました。

会費納入のお願いと住所シールの見方

～会費未納の方へ～

日本大学桜樹会の収入のほとんどが会費によるものです。ご多忙とは存じますが、お手すきの時にご入金いただきますようご依頼申し上げます。なお、お振込の際には、必ず振込用紙の各欄に詳細をはっきりとご記入下さるようお願い申し上げます。

<住所シールの見方>

(34-06) 君嶋孝之様

→個人コード番号(体操部 34 回卒)

2008:08/12/13

→2008年度分までが、2008年12月13日付で入金されています。

平成 20 年度分の会費について

正会員の年会費については、卒業後 20 年以上の場合は 6,000 円、同 10 年以上 20 年未満の場合は 4,000 円、同 10 年未満の場合は 2,000 円となっています。よって平成 20 年度分の会費は次のようになります。

1～29 回卒 ; 6,000 円

30～39 回卒 ; 4,000 円

40～49 回卒 ; 2,000 円

【郵便振替口座番号】 00140-5-111495 日本大学桜樹会

平成20年度 体操競技競技会予定

2008								
月	日	曜	月	日	曜	大会名	場所	
4	12	土	~	4	13	日	第29回オリンピック競技大会体操競技第2次選考会	代々木第一体育館
4	12	土	~	4	13	日	第50回関西学生体操選手権大会	岡山県総合グラウンド
4	19	土	~	4	20	日	第24回東日本学生体操競技グループ選手権大会	笠松運動公園総合体育館
4	19	土	~	4	20	日	第55回東海・北陸学生体操選手権	パークアリーナ小牧
4	25	金	~	4	27	日	第56回九州学生体操競技選手権	宮崎県体育館
5	5	月	~	5	6	火	第47回NHK杯兼第29回オリンピック競技大会体操競技日本代表決定競技会	岡山・桃太郎アリーナ
5	17	土	~	5	18	日	第42回東日本学生体操競技選手権	栃木県体育館
5	24	土	~	5	25	日	第58回西日本学生体操選手権	岡山県総合グラウンド
6	13	金	~	6	15	日	高体連中国ブロック	島根県立体育館
6	14	土	~	6	15	日	高体連関東ブロック	駒沢公園体育館
6	14	土	~	6	15	日	高体連四国ブロック	鳴門・大塚スポーツパークアミノパリュウホール
6	18	水	~	6	20	金	高体連北海道ブロック	野幌総合運動公園体育館
6	21	土	~	6	22	日	高体連北信越ブロック	リージョンプラザ上越
6	21	土	~	6	22	日	高体連東海ブロック	岐阜GMCふれ愛ドーム
6	21	土	~	6	22	日	高体連東北ブロック	福島県郡山市総合体育館
6	27	金	~	6	29	日	高体連近畿ブロック	和歌山県ビックホエール
6	28	土	~	6	29	日	高体連九州ブロック	宮崎県体育館
7	21	月	~	7	24	木	2008西日本ジュニア体操競技選手権大会	京都・向日市民体育館
7	26	土	~	7	29	火	2008東日本ジュニア体操競技選手権大会	野幌総合運動公園体育館
7	30	水	~	8	1	金	中体連北海道ブロック	野幌総合運動公園体育館
7	30	水	~	8	1	金	中体連東北ブロック	岩手県営体育館
8	2	土	~	8	3	日	中体連四国ブロック	高知県立青少年センター体育館
8	5	土	~	8	6	日	中体連近畿ブロック	奈良県立根原公苑第一体育館
8	5	火	~	8	6	水	中体連北信越ブロック	金沢市総合体育館
8	6	水	~	8	8	金	全国高校総体(体操競技)	埼玉・くまがやドーム
8	7	木	~	8	8	金	中体連九州ブロック	北九州市立総合体育館
8	8	金	~	8	10	日	中体連関東ブロック	笠松運動公園体育館
8	8	金	~	8	10	日	中体連中国ブロック	桃太郎アリーナ
8	8	金	~	8	24	日	第29回オリンピック競技大会	中国・北京
8	9	土	~	8	10	日	中体連東海ブロック	静岡市中央体育館
8	12	火	~	8	17	日	2008全日本ジュニア体操競技選手権大会	神奈川・横浜
8	18	月	~	8	20	水	第39回全国中学校体育大会(体操競技)	長野・ホワイトリンク
8	31	日	~	9	2	火	第62回全日本学生体操競技選手権大会	埼玉・熊谷ドーム
9	13	土	~	9	15	月	全日本社会人選手権大会(体操競技男女)	福井・鯖江市総合体育館
9	29	月	~	10	1	水	第63回国民体育大会(体操競技)	大分・別府市総合体育館
10	未定						第51回九州学生体操競技新人大会	未定
10	31	金	~	11	2	日	第62回全日本体操競技選手権大会	新潟・リージョンプラザ上越
11	7	金	~	11	9	日	第38回中部日本学生新人体操選手権大会	スカイホール豊田
11	未定						平成20年度関東学生新人体操競技選手権	未定
11	未定						平成20年度関東学生交流体操競技選手権	未定
11	未定						第41回東北・北海道学生体操新人体操選手権	仙台大学
11	15	土	~	11	16	日	第3回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会	千葉・幕張メッセ
11	15	土	~	11	16	日	豊田国際体操競技大会	愛知・豊田市総合体育館
11	24	月					北京オリンピック帰国報告演技会(鳥取)	鳥取県米子産業体育館
11	26	水	~	11	27	日	第40回関西学生体操新人選手権	兵庫県立総合体育館
12	13	土	~	12	14	日	第14回ワールドカップ決勝-体操競技	スペイン・マドリッド
2009								
3	26	木	~	3	28	土	第9回全国体操小学生大会	茨城・大洗町
3	29	日					第25回全国高校体操競技選抜大会	岡山・桃太郎アリーナ

※事業計画は変更の可能性があります。ご注意ください。

※日程は原則として開会式、会議、練習など、競技以外の日程を除いています。

平成20年度 役員一覧

<会 長> 4; 菊地 君男
<副 会 長> 4; 小俣里知子 4; 高田 信興 6; 鶴見 興人
<会計監査> 7; 岡本 公子 11; 原 弘吉
<総 務> 25; 遠藤 幸一 43; 葛西 玲広

以上 平成 18 年度総会にて決定

<幹 事> 17名

2; 吉川 晃 4; 木村 多喜・早田 卓次
5; 小栗 郁郎 7; 海谷美代子 10; 安藤 泰行
14; 外山 宜男 15; 谷田部光則 17; 梶山 広司
20; 渡辺 嘉三 21; 平田 倫敏 29; 水島 宏一
31; 長澤 郁子 34; 西川 大輔
44; 佐藤 佑介・日向小百合 48; 内田 友幸

<ブロック幹事> 15名

北 海 道 … 8; 山内 悟 37; 吉田 義経
東 北 … 7; 佐藤 勲
北 信 越 … 8; 船木 政明 14; 五十嵐久人 33; 三富 洋昭
東 海 … 15; 後藤 史朗
近 畿 … 26; 川畑 龍雄 40; 岸本 拓也
中 国 … 13; 中谷 秀明 25; 小野田博之
四 国 … 33; 橋本 博之
九州・沖縄 … 5; 磯部 忠通 16; 錦井 利臣 19; 松本 俊一

平成 20 年度 体操部役員および部員

体操部役員

部長；早田 卓次 副部長；前野 正夫
 監督；梶山 広司 コーチ；長澤 郁子、西川 大輔

体操部員 51 名(男子 36 名、女子 15 名)

4 年；
 川野貢太／れいめい高
 沖中一仁／姫路商業高
 岡井翔吾／大宮東高
 加藤恭也／京北高
 大倉純貴／旭川大学高
 早川啓史／高輪高
 飯嶋正志／横浜商大高
 井原隆／長野日大高
 金田一道／日大豊山高
 井上春香／相武台高
 斉藤あゆみ／品川女子学院高
 篠原綾乃／相武台高
 半谷有里／東京成徳大学高
 青木麻智子／日大藤沢高

3 年；
 古賀裕将／れいめい高
 山本翔一／県立大分西高
 荒井健之介／清風高

三宅正晃／関西高
 松本知憲／県立能代高
 川田貴之／作新学院高
 後藤俊介／庄内総合高
 野崎健太郎／横浜商大高
 杉山竹史／東海大附属第二高
 鎌田優／聖徳大学附属高

2 年；
 武内祐樹／清風高
 伊藤翔／湘南工大附属高
 田中宏樹／太成学院高
 日野祐樹／松山北高
 一山翔平／市立尼崎高
 川村洋貴／旭川大学高
 菅井尚英／庄内総合高
 坂下敏博／れいめい高
 小高匡史／日大藤沢高
 森本真帆／京都西山高

松本理沙／県立綾瀬高
 柏崎千友紀／県立綾瀬高

1 年；
 小泉和輝／清風高
 早川昂佑／洛南高
 中俣翔／京北高
 八石翔／れいめい高
 坂下翔平／智頭農林高
 鈴木純／清風高
 西村恵輔／姫路商業高
 山田慧／新潟青陵高
 塚本一真／修徳高
 飯山真衣／品川女子学院高
 友野実奈／聖徳大付属高
 錦崎美菜／鳥栖高
 石橋玲子／市立習志野高
 泉葉月／夙川学院高
 青木泉澄／船橋二和高

	練習開始時間		
	平日	土曜	休日
男子	16:20～	13:00～	13:00～
女子	16:20～	12:40～	10:30～

上記のような予定になっていますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

・練習場；日本大学文理学部第2体育館3階体操場

電話 03-5317-9719 (直通)

会報への原稿募集について

日本大学桜樹会会員として活躍されている皆様の体験談(良かったこと、悪かったこと、成功したこと、失敗したこと、今後の指導に望むことなど)をはじめとして、学生時代の思い出、現在興味を持っていること、近況報告などの原稿を募集しております。原稿枚数など特別な指定は設けませんのでぜひ投稿していただきたいと存じます。

なお、こちらから原稿依頼をさせていただく場合もありますので、その際は桜樹会のために少しの時間をさいてご寄稿くださいますようお願い申し上げます

(投稿締切；毎年3月末日)

投稿先；〒333-0853 埼玉県川口市芝園町 3-4-237 葛西玲広

電子メールアドレス kasai.reo@nihon-u.ac.jp

日本大学桜樹会会報 第42号

発行日 平成20年6月30日

発行者 日本大学桜樹会
